

2 中国における食糧問題

892 昭和16年12月20日 在上海埠内總領事より 東鄉外務大臣宛(電報)

上海における米穀不足への対応振りにつき意

在上海埠内總領事より
東鄉外務大臣宛(電報)

891 昭和16年12月13日 在上海埠内總領事より

上海における邦人民需用の米穀配給機構の整備について

上海 12月13日後発 上海 12月20日後発
本省 12月13日夜着 本省 12月20日夜着

第三三五〇號

上海 12月20日後発
本省 12月20日夜着

見具申

第三二八五號

上海 12月13日後発
本省 12月13日夜着

第三二八五號

對英米開戦ト共ニ外米輸入杜絶邦人民需ノ不足豫想サレタル爲一時在留邦人ノ食米買漁リ盛トナリタルカ當館ニ於テハ既ニ開戦ニ先立チ邦人民需米ノ配給機構ノ整備ニ着手シ去ル十日邦人米穀小賣商ヲ以テ中支米穀配給組合上海支部ヲ組織セシメ軍ヨリ必要量丈ヶ繼續的ニ軍米ノ供出ヲ受クル様取計ヒタル結果買漁リ等モ殆ト跡ヲ絶ツニ至レリ

尙其他一般食料品ニ關シテハ輸入配給組合ヲ指導シテ邦人ヘノ販賣數量制限實施等ノ措置ヲ講シ物資ノ確保ニ努ムル傍ラ小賣價額モ開戦前日ノ價額ヲ越エシメサル様措置セリ北大、南大、天津へ轉電セリ

從テ現在工部局内ノ搬出ニ付テ民心安定ト人口疎散トヲ睨合セ多少制限シ居レルヲ以テ一般民衆ニ米不足ノ不安ヲ

與へ居ル一方（軍側差押ノ米、麥倉庫ヲ開カシムルニ手間取リタルモノナルカ昨日ヨリ略々平常通リノ倉出ヲ見ルニ至リ米屋店先ノ列モ消ヘツツアリ）物資偏在ノ兆モ激化シ又工場ノ操業停止、自由労働者ノ失業等ニ依ル浮浪人ノ増加ハ治安上ニモ憂フヘキ現象發生シツツアリ我方租界對策機關ニ於テハ至急之力打開策ヲ研究中ナルカ現在ノ情勢ニ於テハ前記「ストツク」ヲ幾分ニテモ喰ヒ延ハシメツツ其ノ間ニ一層火急的對策トシテ中支一帶ヲ包含スル供給源ノ確保、外米ノ輸入調整等ノ問題ヲ具體化シ早急ニ之カ實現

ヲ圖ル以外方法ナキモ右ハ實際問題トシテ種々ノ困難ニ逢着スヘク結局對敵經濟封鎖ノ再検討、軍需米調辨方法延イテハ現地自治方面ノ調整等根本問題ニ觸レタル解決ヲ要スルモノト認メラル

南大、北大、天津へ轉電セリ

~~~~~

893 昭和16年12月20日 在上海埠内總領事より 東鄉外務大臣宛（電報）

仏國船による仏印米の上海輸入につき意見具申

貴電合第二五八九號及本官發北大宛電報第一一八號ニ關シ佛印米輸入ハ緊急ノ必要ニ迫ラレ當地佛國總領事ヨリモ至急配船方申出アリ目下上海碇泊中ノ「パレンヌ」號ハ何時ニテモ出港ノ用意アリ早急ニ對策樹立ノ要アルニ付佛印ニ於ケル交渉ノ内容並進捲振り御回電相成度尙當方トシハ佛國船ヲシテ我方傭船ノ形式ニ依ラス一定條件ノ下ニ佛國側ヲシテ當地佛印間航路ニ就航セシムル（コト）却テ妙味アリ（佛國側ハ英米ニ對シ佛租界住民ノ爲必要ナル食糧等ノ運送ノ爲無害通航方交渉ノ意嚮ナル由）ト存シ居レリ差當り使用不能ト認メラルル船舶別電（省略）ノ通ナルカ我方ニ於テ傭船スルト否トヲ問ハス石炭ノ供給並重油釜ヲ石炭釜ニ取り換ノ要アリ

御見込ニ依リ佛印ニ轉電アリタシ

~~~~~

第二三五四號

上 海 12月20日後発
本 省 12月20日夜着

894 昭和16年12月21日

在上海埠内總領事より
東鄉外務大臣宛(電報)

仮印米の上海緊急輸入の必要性につき意見具申

上 海 12月21日後発
本 省 12月21日夜着

第二三六一號

往電第二三五四號ニ關シ

一、佛側ニ於テハ曰佛印協定ニ基ク本米穀年度ノ對佛租界供給分十二萬噸ハ未タ日本側ノ輸出許可ナキコトト共ニ佛本國向ケ二十萬噸モ英佛關係惡化ニ鑑ミ極東ニ振替ヘ得ルヲ以テ計三二萬噸ヲ上海ニ供給シ當地米飢饉ヲ緩和シ得ヘシトナシ居ル處(右ハ南方作戰ニ伴フ日本側需要増加ヲ計算ニ入レ居ラサル如シ)當上海ノ將來ノ需要性ニ鑑ミ速ニ中央ニ於テ英米圈内米穀(食糧)根本對策ヲ確立スル要アルヘキモ不取敢緊急措置トシテ佛印米ノ當地輸入許可量ヲ御決定相成度シ(中支ニ於ケル軍需米買付量ヲ調整セラルルモ可ナルヘシ)

御見込ニ依リ佛印ニ轉電アリタシ

895 昭和16年12月21日

在上海埠内總領事より
東鄉外務大臣宛(電報)

日本軍の上海共同租界進駐後における諸問題

のうち食糧問題の解決が急務である旨報告

上 海 12月21日後発
本 省 12月21日夜着

二、右ニ要スル船腹ニ付テハ冒頭往電及往電第二三六〇號ノ通ニシテ當初ノ憂慮ニ反シ石炭釜船ノ積載量大ナル處當

第二三六二號

地ノ都合ヨリ言ヘハ之力全部ヲ佛印當地間米等ノ輸入竝ニ當地北支間石炭輸送ニ利用致度キ希望ナルカ特ニ米ノ緊迫狀況ニ顧ミ本件對策至急御決定相成度シ(遲クモノ月上旬ニ第一船入港セサレハ租界治安ハ憂慮スヘキモノアリ佛側ハ佛印水域ニ於ケル佛船ノ航行ハ帝國海軍ニ於テ一切禁止シ居ルニ付之カ解除カ先決ナル旨述ヘ居レリ)

三、當地佛印間航行ヲ許可スル場合ニ於テハ直ニ從來當地ニ於ケル積止貨物ノ解除ヲ要スヘキニ付右品目ハ當方ニ於テモ研究中ナルカ本問題ノ爲米ノ輸送開始カ遲ルコトナキ様御準備相成リ御指示ヲ請フ

上 海 12月21日後発
本 省 12月21日夜着

共同租界進駐後ニ於ケル當地ノ最大ノ問題タル食料燃料交通ノ三問題ノ内⁽¹⁾

一、燃料ノ點ハ相當ノ貯炭準備アル爲差當リ一、二箇月ハ緊急ノ問題ハ生セザルヘキモ石炭輸送ニ付船腹ノ手當困難トナル場合ニハ問題急迫スヘン電力ハ倉庫差押ニ依リ原料倉出シ困難ニ伴フ工場活動減退ノ關係モアリ工場電力等ノ制限ヲ強化シ居ルモ一般民需要ハ未タ何等制限強化サレス瓦斯水道等ト同様ナリ

二、蘇州河以南共同租界及佛租界内ニアル重油「ガソリン」
〔ストック〕ノミヲ以テ可及的節約ヲ目的トシテ工部局
〔公量カ〕高等局ニ於テ「ガソリン」石油類ノ配給統制ヲ行ハシメ

居ル處中國公共汽車公司「バス」ハ一日三回二時間宛運

轉ヲ制限シ居リ佛側「バス」電車ハ平常通リナルモ右蘇州河以南「ストック」ハ極僅少ナル爲一、二週間中ニハ少クトモ中國公共「バス」ハ運行停止ノ已ム無キニ至ル

ヘシト認メラル此ノ場合昌樹浦浦東等ニアル差押「ガソ

リン」重油「ストック」ヲ返還シ遣ルコトハ軍側ニ於テ

反対ナルモ是ハ已ムヲ得スト認メラル一般乗用自動車ハ

日本人關係ハ二十日ヨリ強度ノ許可制トナリ共同佛兩租

界モ二十三日ヨリ同様許可制トナル筈「トラック」ハ共同租界ニテハ我方ノ要請ニ依リ物資移動ヲ阻止スル爲八日ヨリ許可制トナリ居リ日本側ニテハ二十日ヨリ同様許可制ト爲シタリ尙虹江側華中「バス」モ運轉ヲ縮少セルカ將來ハ極力代燃化ニ努ムルト共ニ蘇州河以南上海電車ヲ乘入ル様交渉ノ結果華中「バス」委託經營ノ形式ニテ二十四日頃ヨリ一部乗入實施ヲ見ルコトナリタリ石油類不足ニ依リ特殊用途ヲ除キ上海ノ交通ハ極メテ近キ將來ニ於テ電車ヲ主トシ之ニ代用燃料「バス」(製作能カ力大ナラス)ヲ多少配置シタル極メテ窮屈ナルモノトナル他

三、最モ困難ナルハ食料ノ問題ニシテ屢次往電ノ如ク且下ノ状勢ニテハ共同、佛兩租界ヲ通シ今後約二ヶ月分ノ食料ヲ餘スノミニテ日本側ヨリノ米ノ配給ニ關シ工部局竝ニ佛側ヨリ火急ノ督促ヲ受ケツツアリ本問題ハ當地各種施策ノ根本問題ニシテ其ノ解決ハ刻下ノ急務ナルカ之無クシテハ上海利用ヲ目的トシ來レル今日迄ノ根本方針ヲ變換シ人心⁽²⁾宛安等ニ力點ヲ置カスシテ人口疎散政策ヲ強力且急速ニ實施スル外無シ

南大、北大、佛印大使府へ轉電セリ

896 昭和17年1月17日

(東郷外務大臣より)
在上海堀内總領事宛(電報)

仏印米買付け交渉の経過及び仏印米の上海への割当量につき報告

本省 1月17日後7時50分発

第四二號(極祕、急)
往電第一三三三號ニ關シ

一、日佛經濟協定昭和十七年度改訂ニ關スル日佛印交渉ハ既ニ現地大使府ニ於テ數次會談ヲ行ヒ來レル處佛印米ノ供給ニ關シテハ一月一日佛印側ヨリ始メテ具體案ノ提出アリ右ハ略昨年度ト同様ノ「ライン」ニ依リ現在ニ於ケル推定輸出餘力ヲ基礎トシテ日本向約六九萬廻、佛本國及

植民地向二〇萬廻及佛租界向一〇萬廻ヲ割當テ此中佛本國及植民地向留保分ニ付テハ輸送不可能ノ場合ニハ日本向ニ振替ヘル案ヲ骨子トセルモノナリ之ニ對シ當方ハ至急關係廳ト審議ノ結果我方一括買付要求ヲ強力ニ推進セシムルコトニ決シ此旨現地ニ回訓スルコトトナレリ

三、尤モ上海ノ逼迫セル事情ニ鑑ミ交渉ノ妥結ヲ待ツコト困難ト思料セラルルヲ遲クトモ二月初旬迄ニハ日本側買付量中ヨリ一定量(具體的數量ハ農林省ト折衝中ナルモ上海一萬廻廣東、廈門各五千廻程度)ヲ特ニ上海宛輸送セシメ且配船ニ付テモ佛國船傭船交渉ノ進捗如何ニ依リテハ或ハ別途斡旋方考慮スル様目下關係方面ト打合中ニシテ近ク興亞院連絡委員會ノ諒解ト致度考ヘナリ尤モ軍ニ於テハ尙華僑ヲ利用スル一萬廻輸入ノ考ヲ全ク捨テ居ラサル如キモ極力說得中ナリ右御含置相成度

897 昭和17年1月22日

(在上海堀内總領事より)
在上海堀内總領事宛(電報)

上海租界における米配給問題につき意見具申

本省 1月22日後発

第一四〇號

客年往電第一四二九號ニ關シ

租界ニ於ケル食米配給ノ節減ハ人口疎散ニモ相當效果アル
爲工部局ニ於テハ從來ノ放出量ヲ更ニ低減昨今ハ一日六千
五百袋程度ニ壓縮方努力シ居ル處(平常時一日ノ放出量ハ
一萬三千袋以上)此ノ程度ナラハ治安上ニモ左シタル支障
ヲ起サヌシテ現有「ストツク」ニテ一月末迄位ハ喰ヒ延シ
得ル一應ノ目算ナリ

今後ニ於ケル供給源ニ付テハ今以テ何等日鼻ツカス工部局
ノ一部ニ於テハ「ストツク」ノ減少ニ焦慮シ結局華商ヲ指
導シ地元資本ニ依ル奥地米買付ニ乘出サシムル様當方ノ斡
旋ヲ希望シ來リ居ル處奥地米買付ニ付テハ軍需米買付トノ
間ニ極メテ機微ナル關係ヲ生スル爲軍側ニ於テハ非占領地
區ナラハ兎モ角占領地區内ニ於ケル之等民間ノ自由買付ニ
ハ反對意向ヲ表明シ居ルヲ以テ(當地華商筋ニ依ル民需米
買付ニ付テハ南京ノ食糧管理委員會ノ立場モアリ更ニ從來
買付實績ヲ有スル邦人有力商社筋ニ於テモ反對アル模様)
假令工部局側ノ希望通リ華商ヲシテ買出ヲ爲サシムルトモ
其ノ數量ニハ勿論限度アルヘク又「ゲリラ」地區ヨリノ買

出モ結局軍需米買付ト表裏ノ關係アルヲ以テ此ノ際當方ト
シテハ土產米ノ供給源ヲ統一スル見地ヨリ食米調辨ノ指導
ハ大使館並ニ總軍側ニ一任シ租界供給分トシテ最少必要量
ノ融通ヲ受クル様軍側並ニ國民政府ニ凭レ込ム方諸般ノ情
勢上妥當ト考ヘ居ル次第ナリ(尤モ當地軍ノ一部ニハ工部
局ノ中立性ナル看板ヲ掲クルコトニ依リ又租界内有力米商
人ニシテ重慶側トモ聯絡アル者ヲ利用スルコトニ依リ非占
領地區又ハ「ゲリラ」地區ヨリモ米ノ買付ヲ爲シ得ルニア
ラスヤトノ望ヲ有シ居ル向モアリ此ノ點ニ關シ工部局側ト
モ聯絡中ナルカ目下ノ處ニテハ大シタ見込ナカルヘシト存
ス何レニスルモ現在ノ處外米ノ補給ナキ限り地場米ヲ以
テ賄フ外ナク茲ニ根本的無理アル譯ナルカ近ク南京ニ於テ
食糧對策會議開催サルル趣ニモアリ租界對策機關ニ於テモ
食糧班ヲシテ當地食米問題ヲ充分檢討セシメ右會議ニ於テ
上海ニ對スル食米ノ供給確保方具申セシメタキ意向ナリ
就テハ中央ニ於カレテモ貴電第四二號ノ次第アルモ外米輸
入竝ニ船腹問題ニ關シ此ノ上共御盡力相煩度シ
南大、北大へ轉電セリ

898 昭和17年2月2日 在中國重光大使より

東鄉外務大臣宛(電報)

華中地域の食糧需給対策に関する糧食対策委員会での討議について

南京 2月2日後発

本省 2月3日前着

第一〇三號

中支ニ於ケル本年度食糧需給対策ニ關シ二十四、五兩日當館ニ於テ又三十日華中連絡部ニ於テ糧食対策委員會ヲ開催何レモ總軍方面艦隊、登部隊、華中連絡部、上海總領事館各係官出席協議ノ結果左ノ諸點ヲ決議セリ詳細郵報ス

一、糧食需給關係

(一) 中支米穀消費量

七三四、〇〇〇噸

(二) 供給量

一三〇、七〇〇噸

(三) 消費節約、雜糧ニ依ル補給

二六、六〇〇噸

差引不足量

一五二、七〇〇噸

右不足量ハ中央ノ斡旋ニ依リ佛印ヨリ外米輸入スルモノ

トス

二、配給組織關係

(一) 上海ニ於ケル配給組織二元化シ中支糧食對策委員會ノ

下ニ上海糧食配給委員會ヲ設置シ上海ニ於ケル配給ノ

統制、計畫ヲ處理セシム其ノ構成左ノ如シ

大使館系統、總軍、艦隊、登部隊ヨリ各々一名

華中連絡部二名

(二) 上海糧食配給委員會ハ國民政府糧食管理委員會供給ノ

奥地米、日本軍斡旋米、日本政府斡旋外米ノ上海市ニ

於ケル配給ヲ計畫統制ス現ニ上海工部局米ノ配給ニ當レル英米商ハ二月末ヲ以テ日支商人ニ切替フルモノトス

(三) 上海ヲ除ク奥地ニ於テハ從來通り國民政府糧食管理委員會ニ於テ配給ノ統制ヲ行フ

上海へ轉電セリ

~~~~~

899 昭和17年2月5日 在廣東高津總領事より

東鄉外務大臣宛(電報)

マカオへの米穀緊急融通方要請

広東 2月5日後発

本省 2月5日夜着

第一二三號

澳門發本官宛電報

第一六號

大臣へ轉電アリタシ

澳門福井ヨリ

澳門政廳貯藏米ハ本日ヲ以テ全部出盡シ我海軍ノ好意ニ依

リ今夜入荷ノ豫定ナル五千擔ヲ最後トシ爾今入手ノ見込立  
タス愈最大危機ニ直面セリ應急手當トシテ香港(三、四十  
萬袋ヲ保有ス)ヨリ五千袋融通方御配慮ヲ得度ク又陸海軍  
ノ澳門ニ對スル密輸監視ヲ緩和シ米ノ移入ノミハ大目ニ見  
遣ル様中央軍部ト御協議ノ上何分ノ儀回電アリタシ右政廳  
竝ニ華僑代表ヨリ切實ナル歎願アリ旁々現地限りニテハ解  
決困難ニ付重ネテ電稟ス

900 昭和17年2月12日

(在広東大閥總領事代理より  
東鄉外務大臣宛電報)

マカオの米穀緊急要請に対し香港からの融通

実現方意見具申

廣東 2月12日後発  
本省 2月12日夜着

第二二七號

本官發(澳門?)宛電報

第二一號

貴電第一六號ニ關シ

澳門ノ米問題ハ當地トシテモ種々折衝中ナリシモ何分香港  
陥落迄ハ香港流入ニ依ル我方不利等ヲモ併セ考ヘ實現ニ至  
ラサリン處事情一變セル今日ニ於テ尙見殺シニスルコトハ  
徒ニ我方ノ威信ヲ傷付クル結果トナルコトヲ惧レ當地貿易  
調整委員會(外陸海興其ノ内陸ハ特務機關、軍經理部)ニ於  
テ當地外米保有高中不取敢一千噸ヲ支出シ根本問題ハ右手  
渡シニ當リ政廳側ト折衝ノ事ニ話合付キ早速海軍側ハ田尻  
機關、陸軍側ハ澤機關及待機中ノ矢崎特務機關長ニ照會ス  
ルコトニ決定至急實現方當館ニテ斡旋中ノ處海軍側ヨリハ  
同意ノ旨陸軍側ヨリハ未タ何等回答無ク九日佐藤ヲシテ再  
應電照方申入レシメ置キタルカ海軍側トノ機微ノ關係モア  
リ或ハ全面的ニ拒否シ來ルヤモ計ラレス就テハ今後ノ我方

對葡國策ノ一部トシテ

一、本邦船腹不足緩和ノ一方法トシテ澳門繫留中ノ葡國船ノ  
傭船

二、澳門ニ於ケル鐵鑛石積取リノ船着場築造用浚渫船ノ借入  
三、在外本邦利益保護國トシテノ葡國援助及將來我方ヘノ呼  
應

四、敵國船ニシテ澳門繫留中ノモノ我方ヘノ合法的引渡シ

等考ヘラルル處澳門ヲ見殺シトスル場合ノ不利益トシテハ  
(イ)自由交通ヲ日本側ニテ禁止シナカラ食糧品ヲ禁止スルハ  
人道上不可ナル點(ロ)見殺シトスルモ何等益無キ點(ハ)船腹不  
足緩和ニ寄與セサル點(ニ)萬一在外ノ我方利益保護國タルヲ

拒否スル結果招來ノ點(ホ)戰後我方ノ對外的信用ヲ失墜スル

點等考ヘラレ且又一千噸ヲ今次特別融通スルモ「バーツ」

又ハ「ピヤストル」資金ハ拂込マシムル件考ヘラルル處海

軍側ハ全的ニ贊成シ船腹モ用意シアル實情ニ付吉川中佐ト

モ充分御話合ノ上至急右實現ニ協力方御取計ヲ得ハ當方ト

シテモ將來ノ對策ニ關シ頗ル好都合ナリ

大臣ヘ轉電セリ

~~~~~

901 昭和17年2月16日

東鄉外務大臣より
在広東大閥總領事代理宛(電報)

マカオへの米穀融通を検討中である旨通報

本省 2月16日後8時10分発

第一一八號(大至急)

貴電第一一三〇號ニ關シ

佛印及「タイ」米ニ關シテハ我方ノ一元的買付ケ及配船ノ
下ニ支那及南方諸地域ニ對シ供給スル方針ヲ以テ且下關係
各省トノ間ニ協議中ニテ不日具體的決定ノ見込ナルカ澳門
ニ付テモ一部融通方考慮中ナリ

~~~~~

902 昭和17年2月18日

東鄉外務大臣より  
在中國重光大使、在上海埠内總領事、  
在廣東大閥總領事代理他宛(電報)

タイ、佛印からの主要食糧の日本、中国、占

領地向輸出配分計画について

付記 昭和十七年一月十九日、興亞院連絡委員会決定

「昭和十七年度支那食糧對策要綱」

本省 2月18日後7時30分発

合第三三三號

本大臣發上海宛第四二號ノニ關シ

北大、天津、青島、盤谷、河内、西貢へ轉電セリ

「タイ」、佛印ニ於ケル主要食糧(米、米粉、玉蜀黍)ノ日本、支那及占領地向輸出配分計畫案ニ付十七日企劃院ニ於テ關係廳協議ノ結果大要左ノ通り打合セタリ

一、「タイ」、佛印ニ於ケル主要食糧ノ輸出餘力總計ヲ二、六

○六(單位千噸以下同シ)ト見積リ(内譯米二、一五〇、

米粉一二八、玉蜀黍三一八)此ノ中日本向一、六七五(米

一、四七五、玉蜀黍二〇〇)支那向(香港及澳門ヲ含ム)

五二四(米三八六、米粉一二八、玉蜀黍一〇)新占領地向

三五七(米二三九、玉蜀黍一一八)ヲ割當テ且豫備トシテ

米五〇ヲ保留スルコト(支那向分ノ各地域別割當ハ十九

日興亞院ト協議決定ノ筈ニ付追電ス)

二、代金決済ハ別途措置スルコト

三、買付及輸入ニ付テハ日本ノ一元的統制ノ下ニ實施スル方

針トスルコト(但シ配船計畫ニ付テハ企劃院ト更ニ折衝

ノ要アル爲本案ニ於テハ一應之ニ觸レサルコトセリ)

尙本案ハ近ク第六委員會決定トナル豫定ニ付右決定次第委

細郵報ス

廣東ヨリ澳門へ轉報アリタシ

## 七 「大東亜共榮圏」における食糧問題

### (付記)

昭和十七年度支那食糧對策要綱

(一七、三、九 興亞院連絡委員會決定  
興、陸、海、外、藏)

### 方針

緊迫セル支那食糧事情並現下ノ我國戰時經濟ノ實情ニ鑑ミ  
極力食糧自給率ノ増強、配給、消費ノ規正ニ努力スルト共  
ニ治安維持並重要產業ノ勞働力確保ニ必要ナル最少限度ノ  
食糧ヲ輸入シ食糧需要ノ調整ニ遺憾ナキヲ期ス

### 要領

#### 一、自給率增强對策

(1)食糧農產物ノ既定增產計畫ノ徹底的遂行ヲ期スルコト

ニ一層努力スルコト

(2)現地ノ實情ニ即應シ收買機構ノ整備ヲ一段ト合理化シ  
收買量ノ增加ニ努ムルト共ニ關係機關ト緊密ニ連絡ノ  
上各地區ノブロツク主義ヲ打破シ食糧ノ圓滑ナル交流

ヲ圖ルコト

(3) 收買價格ニ關シテハ棉花其ノ他ノ特用農產物トノ關係等ヲモ考慮シ生産者ノ退藏及敵地區ヘノ流出ヲ防止シ得ル如ク適當ナル措置ヲ講ズルコト

(4) 蒙疆ニ於テハ特ニ雜穀類集荷ノ増強ヲ圖リ本年度十五萬屯ヲ北支へ移出スルコトニ付特段ノ努力ヲ拂フト共ニ小麥粉ノ他地域ヘノ依存性ヲ脱却スルコトニ努ムルコト

(5) 北支ニ於ケル小麥粉ノ地場生産量ハ來小麥年度少クトモ千四百萬袋ヲ確保スルコトニ努ムルコト

(6) 中支小麥粉ニ付テハ適地ノ製粉工場ノ回復租界内華人工場ノ利用等ヲ圖リ來小麥年度二千萬袋以上ノ生産ヲ目標トシ輸移出量ノ増加ニ努ムルコト

## 二、食糧輸入對策

- (1) 戰時下ニ於ケル我國ノ船舶資金ノ事情ヨリ見テ南方諸地域ヨリスル支那向食糧輸入ハ多大ノ困難ヲ伴フモ現下ノ支那食糧事情ニ鑑ミ特ニ本年度間ニ民需用トシテ五一千噸ノ米穀等ヲ支那ニ輸入スルコト  
(2) 右米穀等ノ地域別割當ハ一應別表ニ依ルコト  
(3) 佛印、泰等ニ於ケル米穀等ハ我國食糧問題トモ重大ナ

ル關係ヲ有シ尙新ニ占領シタル地域ニ對シテモ分配セラルベキモノナルヲ以テ日本側ニ於テ一元的ニ之ヲ取得シタル上支那ニ輸入スルコト

(4) 輸入米穀等ノ資金ハ差當リ中央ニ於テ考慮スルノ外ナキモ現地ハ華僑送金ノ利用輸出ノ増加ニ依ル輸入資金ノ増強等ニ依リ可及的日本側ノ負擔ヲ輕減スルコト

(5) 輸入食糧ノ配船ハ中央ニ於テ極力斡旋決定スルコト  
(6) 輸入食糧ノ荷受機構ハ可及的速ニ之ヲ整備スルコト  
(7) 南支及香港ニ付テハ各地區ノ食糧需給狀況ニ即應シ彼此融通スルノ措置ヲ講ズルコト

(8) 滿洲ヨリ北支ヘノ雜穀輸入ニ關シテハ日本向輸出トノ調整ヲ考慮ノ上速ニ現地間ニ於テ協議決定スルコト

## 三、配給及消費規正對策

- (1) 食糧配給機構ヲ整備シ配給先、配給方法、販賣價格等ニ對シ統制ヲ強化スルコト特ニ重要產業ノ必要勞動力ノ定着確保及勞資暴騰防止等ヲ圖ル爲重點的食糧配給ノ制度ヲ確立スルコト  
(2) 現地狀況ニ即應シ主要食糧ノ節約、他下級食糧ヘノ代用轉化ヲ圖ルコトニ努力スルコト

七 「大東亜共栄圏」における食糧問題

(3) 製粉歩留ノ向上ヲ圖リ代用粉ノ混用ヲ圖ルコト

(4) 北支ニ於テハ小麥粉消費量ヲ年間三千萬袋以下ニ規正

スル方針ノ下ニ施策スルコト

(5) 上海等大消費都市ニ於テハ人口ノ疎散方策ヲ強化スル

コト

(6) 中支ヨリノ小麥粉輸移出量ノ如何ハ各地區ノ食糧需給  
上重大ナル關係ヲ有スルヲ以テ小麥粉ニ付テモ消費規  
正方策ヲ採り輸移出量ノ確保ニ努ムルコト

別  
表

南方ヨリ支那ニ對スル米穀等ノ地域別輸入豫定數量

自十七年一月  
至十七年十一月

|     |       |
|-----|-------|
| 北 支 | 七〇千廻  |
| 中 支 | 二〇〇千廻 |
| 南 支 | 一一四千廻 |
| 廣 東 | 五七千廻  |
| 汕 頭 | 三〇千廻  |
| 海南島 | 六千廻   |

香 港 一〇一千廻

豫備米 二六千廻

尙右ノ外澳門向トシテ「三千廻輸入ノ豫定ナリ

編 注 本付記文書は農林水産政策研究所所蔵、大東亜省支那事務局農林課作成、「食糧対策ニ關スル綴 其ノ三

(昭和十七年度)」より採録。

903

昭和17年3月17日

在マカオ福井(保光)領事代理より  
東郷外務大臣宛(電報)

マカオでの食糧危機に際しタイ及び仏印から  
の米穀融通具体化要請

マカオ

3月17日後発

本 省 3月17日夜着

第三號

澳門米食問題ニ關シ政廳倉庫ニハ既ニ一粒ノ「ストック」  
モナキ爲配給ハ停止サレ密輸米ヲ以テ危局ヲ維持シ居リ更  
ニ一千噸融通方廣東ニ電照中ナルカ佛印若クハ「タイ」ヨ  
リ繼續的輸入ノ件至急具體化セラレシ

上海における食米配給事情緊迫に鑑み外米供  
給方要請

上 海 6月30日後発  
本 省 6月30日夜着

第一三八〇號

當地食米事情ニ付テハ六月十日附極祕第一五〇一號ヲ以テ  
詳細報告シ置キタル處最近ニ於ケル配給狀況御参考

一、工部局ノ切符制ノ準備ハ先週末ニ於テ既ニ四割五分ノ發  
給ヲ終リ今週末ニハ大體九割以上ノ發給ヲ完了シ得ル見  
込ナルヲ以テ來週早々實施ノ豫定ナリ

二、然ル處當地現在ノ保存量ハ七月分ノ軍拂下米ヲ合シ僅カ  
ニ二萬噸ニ過キス、七月ノ端境期ヲ控ヘ相當緊迫狀態  
ヲ豫想セラルルヲ以テ右切符制移行ヲ機會ニ更ニ消費規  
定ヲ決定セシムル一方小麥粉ノ抱合配給ヲ實施セシムル  
方針ニテ六月二十六日ノ調整委員會ニ於テ切符制實施ニ  
伴フ華人配給割量ヲ左ノ通り決定セリ

(イ)一般配給(約二百三十萬人)トシテ各切符持參者ニ對シ  
即チ一箇月需要量ハ米約十三萬五千袋餘小麥粉約三十  
五萬袋ナリ

三、從來軍拂下米ハ大部分安ノ籼米(無湖米)ナリシ爲外米  
トノ調整配給ニ依リ漸ク一支斤ニ弗五〇仙ニ維持シ來レ  
ル次第ナルカ端境期ヲ控ヘ籼米ノ調辨不可能トナリ昨今  
ハ軍供出米モ殆<sup>(ト々カ)</sup>ノ粳米(松江米)ノミトナリタル爲  
更ニ格安ノ外米補給ヲ得サル限り遠カラス小賣值ノ引上

(ロ)重要人口ニ對スル特別増配トシテ右切符配給ノ他ニ兩  
租界警察官、消防員(約八萬五千人)ニ月一五匁、工部  
局海關其ノ他行政機關職員(約一萬三千人)ニ月一五匁  
公共事業從業員(約一萬人)ニ月一五匁一般工場勞働者  
(約十萬人)ニ月五匁ノ割合ヲ以テ配給ス  
右特別配給ヲ行フ理由ハ(イ)ノ配給量ヲ以テシテハ漸ク  
オ粥ヲ食フ程度ニ過キサルヲ以テ右必要人口ニ對シ增  
配ヲ行ヒ其ノ家族扶養ニ憂ナカラシムル趣旨ナリ  
(ハ)其ノ他營業用トシテ米四千五百袋ノ小麥粉一萬袋ヲ配  
給ス

七 「大東亜共栄圏」における食糧問題

モ免カレ得サル實情ニアリ然ルニ當地物價問題ハ屢次電

報ノ通り益々深刻化シ食米ノ値上ノ如キハ如何ナル犠牲

ヲ拂ヒテモ抑止スル必要アリ工部局等ニ於テモ碎米トノ

抱合團體配給ニ依ル費用節約等ニ竝々ナラヌ苦心ヲ爲シ

漸ク現價格ヲ維持シ居ル次第ナリ

四、一方小麥粉ハ現在一袋百五弗ニシテ米ニ比シ遙カニ割高ナルヲ以テ前記「ノ抱合配給ヲ爲ス場合民衆ノ負擔ハ事實上更ニ加重サルル譯ナリ

五、事情右ノ如ク當地ノ食米問題ハ（物價問題トモ絡ミ）極メテ憂慮スヘキ狀態ニアルヲ以テ大藏省其ノ他關係方面ニ對シ出來得ル限り割安ノ外米供給方此ノ上其御盡力煩度シ

南大、北大、天津へ轉電セリ

905

昭和17年7月7日

在タイ坪上大使より  
東郷外務大臣宛（電報）

華僑間取引による華南地域へのタイ米輸出に

つき請訓

貴電第一四四三號ニ關シ

バンコク 7月7日後発

本省 7月8日前着

第一四四三號

從來「タイ」米ノ南支向輸出ニ關シ

華僑送金利用及華僑對策等ノ特殊事情ヲ考慮シテ例外的ニ

華僑間ノ取引（盤谷ハ興發及コウホウ、汕頭ハ興業、廣東ハ粵興）ヲ認メ三月以降現在迄汕頭向約千噸、廣東向約二

千噸ヲ積出シタル處且下當地華商買付濟ノモノ汕頭向千噸、廣東向二四〇〇噸アリ右ハ三菱積（出）分及船腹ヲ考慮ノ上

七、八月中ニ積出サシマル豫定ニ付御了知願ヒタシ尙曰「タイ」貿易協定成立後右ノ如キ華僑間取引ニ對スル中央ノ方針御回電相煩度シ

906 昭和17年7月10日

東郷外務大臣より  
在タイ坪上大使宛（電報）

華南地域へのタイ米輸出につき回訓

本省 7月10日後8時発

第一〇〇二號

我方ハ現在泰米ノ輸出ハ三菱ヲシテ獨占的ニ取扱ハシメ居リ從テ華僑間ノ直接取引ハ原則的ニハ容認シ難キトコロナルモ今回ノ二千四百疋ニ付テハ御來示ノ如キ特殊事情アル上既ニ買付濟ニテモアリ特ニ今回限り例外的ニ認ムルコトス

尙今後ノ方針トシテハ輸出余力ハ一應全部日本側ニ提供スルコトトナリ居ルヲ以テ理論上華僑間ノ直接取引ハアリ得サルコトトナルベキモ支那船ノ利用其他特殊事情存シ考慮ヲ要スル場合ハソノ都度打合セ決定スルコトト致度シ

。。。。。。。。。

907 昭和17年7月18日 東郷外務大臣より

在タイ坪上大使、在廣東高津總領事、  
在廈門赤堀鉄吉、總領事他宛(電報)

華南地域へのタイ米輸出計画に關し華僑及び

中国側指導上の不都合上申方訓令

本省 7月18日後6時発

合第一三五二號(極祕)

今般日「タイ」合辦ノ米穀輸出獨占會社ヲ設立シ日本側ニ於テ「タイ」米輸出餘力ノ全部ヲ右獨占會社ヨリ一手引受クルコト(日本側ノ引受機關ノ組織方法未決定)ニ中央ノ方

針決定シ曰下「タイ」側ニ對シ交渉中ナリ從テ支那占領地向「タイ」米ハ全部日本側ニヨリ中央決定ノ割當量ニ應シ配分セラルルコトトナリ貴地方粵興興業、興發等ノ取扱モ變更ヲ受クルコトトナルヘキ處(例へハ日本側引受機關ヨリ購入ス)右ニヨリ華僑及支那側指導上特ニ甚シキ不都合モアラハ其ノ理由從來ノ取引方法輸送關係ト併セテ回電アリ度

本電宛先 廣東、廈門、汕頭、タイ  
南大、上海へ轉電セリ

908 昭和17年7月23日 在廣東高津總領事より

東郷外務大臣宛(電報)

華南地域へのタイ米輸出に關し獨占會社設置

後も當地華僑を利用方要請

広東 7月23日前發  
本省 7月23日夜着

合第一三五二號(極祕)

第五五一號  
<sup>(1)</sup>貴電合第一三五二號ニ關シ

粵興ハ豫テ本省ノ御方針ニ基キ當地ヨリ「タイ」國華僑ニ

呼掛クル唯一ノ經濟工作機關トシテ育成シ來リ今日ニ於テハ聯絡員三名ヲ「タイ」國ニ派遣シ同地有力米業者恒豐ヲ

中心トスル華僑ト緊密ナル聯繫ヲ取り付ケ得當地土產ノ「タイ」國向キ輸出モ近來頓ニ實績ヲ示シ來リ又「タイ」

米輸入ニ付テモ充分ノ能力ヲ整ヘ得中央ノ御諒解ノ下ニ今後活潑ニ華僑取引ニ乘出サント準備シ來リタル矢先本件獨占組織ノ成立ヲ見タルカ興發粵興及興業ヲ通スル一聯ノ工作ヨリ見レハ眞ニ痛手ナリト申ササルヲ得ス貴電御來示ノ如ク日本側引受機關ヨリ「タイ」米ヲ購入シ得ルトスルモ右ハ日「タイ」合辦組織ノ性質上華僑貿易トハナラサルヘク從テ米ニ關スル限り當地華商ト「タイ」國華僑トノ關係ハ遮斷セラルルニ等シク右カ粵興及興業ノ「タイ」國向輸出貿易ヲ

阻害スルニ至ルコト必定ナルヘク強ヒテ當方ノ希望ヲ申上クレハ今獨占組織ノ裏面ニ於テ今日漸ク聯繫ヲ取付ケ得タル當地華商ト「タイ」國米業者トノ取引ヲ何等カノ方法ニテ生カシ得ル様工夫セラレンコト希望致度キモ右ハ素ヨリ容易ナラサルヘキヲ以テ尠クトモ今後日本側引受官カ粵興ニ南支向食糧米ヲ割愛スルニ當リテハ充分ノ便宜ヲ供與ス

ル様御配慮アランコトヲ當地業者指導上ヨリ特ニ切望スル次第ナリ

當地「タイ」間貿易ハ從前香港商人ニ依存シ行ハレタルモノニシテ事變後粵興ニ依リ新ニ直接取引ヲ開拓シタリト稱スルモ過言ニ非サルモ日猶淺キヲ以テ貴電末段「甚タシキ不都合」ハ強調シ得ル限りニ非サルモ（但シ汕頭ニ關シテハ事情ヲ異ニスヘシ）中央ノ食料統制強化ニ當リテモ許ス限り當方面華商及華僑トノ經濟的接觸面ノ維持方御配慮相成度ク卑見敢テ具申ス

909 昭和17年7月28日 在汕頭高井（未彦）領事より  
東鄉外務大臣宛（電報）

### 潮汕方面における華僑への米穀配給等につき

#### 意見具申

汕頭 7月28日後発  
本省 7月31日夜着

#### 第九一號

<sup>(1)</sup> 興業公司木村ハ今次上京ノ際ニ政府ノ樞機ニ觸レ工作ノ轉機ヲ計リ居ル位ヒニテ中央ニ於テ如何様ニ決定セラルトモ

御方針ヲ體シ右決定ニ即應スル態勢ヲ備フル覺悟ヲ決メ居ル次第ナルモ當地獨特ノ經濟状勢ニ鑑ミ興業ノ實績程度ノモノハ從來通り興業ノ手ニテ成ルヘク格安ニ華僑家族ニ配給シ得ル様希望シアルニ付出來得レハ興業ノ華僑留守宅約六萬人ノ爲輸入セシ月平均四百噸程度ノモノハ日本側ノ一手引受ヶ機關ノ特別扱又ハ取扱外トシ興業ニ扱ハシメ度現地ノ意図ナリ理由左ノ如シ

一、潮汕和平地區ヘノ外米輸入ハ興發積出シ興業扱ノモノ（一小部分）ヲ例外トシ三菱扱ノ「タイ」米三井扱ノ西貢米ヲ配給機關タル汕頭米穀配給組合ニテ兩者倉庫渡シニテ引取ルコトトシ居ル處

興業扱ノ「タイ」米カ從來他ノ輸入外米ニ比シ四、五割乃至五、六割方格安ナリシハ興發及興業ニ於テ始ント實費ニ近キ計算ニテ輸出入及配給ヲ爲シ何レニ依ルト雖モ三井三菱兩社ノ否定ニ拘ハラス兩社カ他ニ競爭者無キヲ奇貨トシ暴利ニ近キ手數料ヲ稼ケルコトヲ證明スルモノナリ

二、<sup>(3)</sup>興業扱ノ米ハ月平均千二百噸ノ盤谷向當地土產諸雜貨ト「バーター」式ニ決済セラレシ處右雜貨ハ凡テ華僑關係者カ之ヲ搔キ集メ興業名義ニテ輸出セルモノニシテ此ノ「バーター」取引ハ最近漸ク軌道ニ乗リタル計リナルモ（此ノ雜貨ノ大部分ヲ占ムル野菜ノ漬物其ノ他食料品ハ見返リノ船腹ヲ利用シ内地臺灣ニ振向クルコト研究中）當地引受機關ハ他ニ決定シ興業ト關係無キニ至ラハ之等雜貨ハ其ノ引受機關ニ於テ直接搔キ集ムル結果トナリ華僑關係者ハ大恐慌ヲ來スコト必至ナルコト

三、當地輸出ノ大宗ハ「ドロンワーカ」及刺繡品ノ對米輸出ノ杜絕ニ依リ當地ハ現在輸入超過ヲ來シ「インフレ」傾向歷然タルモノアリ一方多數ノ失業者及香港疎散民ノ

激増ハ物價高ト相俟チ治安ニ大ナル影響ヲ及ホシオルヲ<sup>(4)</sup>

以テ民食ノ大宗タル米穀ノ取扱機關ノ急激ナル變化ハ人  
心ニ不安ヲ増ス惧アルコト

因ニ最近入荷セル三菱扱「タイ」碎米C一(半分糠混リ  
ノ屑米ニシテ家畜用)百斤新法幣二百元卽チ三十六圓餘  
ニテ支那人食料トシ販賣セラレ居リ邦人配給米タル寶  
來米上物百斤四圓ニ比スレハ頗ル高價ニテ支那人間ハ勿  
論邦人間ニモ物議ヲ釀シ今後割安ノ西貢米輸入要望ノ聲  
大ナリ

「タイ」へ轉電セリ

910

昭和17年8月2日

在汕頭高井領事より  
東鄉外務大臣宛電報

### 民心安定のため潮汕地区向けの円滑なタイ米

#### 輸出を要請について

軍票二七圓三三錢小賣三六圓四錢ト昂騰セリ依テ當地三菱  
ニ之カ説明ヲ求メタルニ汕頭着値段ニ關シテハ曰「タイ」  
協定ニ依リ曰「タイ」兩政府當局間ニ於テ積出船便毎ニ之

ヲ決定スルモノニテ盤谷買付値段竝ニ原價騰貴ノ理由等ハ  
一切不明ナリト言ヒ又特別圓ニテ買付ケタル爲メ經費嵩ミ  
タリ等逃ヶヲ打チ要領ヲ得サル處斯ル暴騰ハ「チカル」貨  
幣價切下ケ又ハ「タイ」米輸出獨占會社新設等ニ伴フ現象

第七號

潮仙和平地區ニ於ケル民食米極度ニ不足シ居リ毎月最少限度外米五萬袋ノ輸入ヲ必要トスル事情ハ御承知ノ通りナル

カ本年一月以降六月迄ノ外米入荷二一二、三五七袋中大部  
分ヲ占ムル一七七、七七四袋(三菱扱一六四、一七四袋興  
業扱一三、八〇〇袋)ハ盤谷積出シノ「タイ」米ニテ其ノ  
價格ハ碎米A一汕頭渡シ百斤ニ付本年一月九「チカル」七  
五乃至十「チカル」五〇、二三四月ノ三ヶ月間ハ七「チカ  
ル」七〇ヲ持續セルニ四月末八「チカル」十日發表後五月  
(入荷無シ)ニ入リテハ俄然二十「チカル」六〇ニ上リ六月  
ノ入荷米ニ至リテハ碎A一(興業扱)軍票三十五圓小賣四十  
圓ナルC一(三菱扱)

汕頭 8月2日後發  
本省 8月2日夜着

第九三號  
本官發「タイ」宛電報

トシテ或程度已ムヲ得ストスルモ斯ル民衆主食物ノ騰貴ハ  
當地輸出ノ不振及華僑送金ノ不圓滑等ニ依リ二重三重ノ不  
況裡ニアル細民ノ苦痛ヲ一層激化シ當市二十萬餘ノ内餓死  
スルモノ毎日二十ヲ下ラス

之カ民心ヘノ惡影響ハ和平地區ノ治安ニ由々敷キ問題ヲ投  
ケ掛け居リ此ノ際成ルヘク安價ナル良米ヲ輸入シ之カ配給

ノ圓滑ヲ圖ルノ必要ハ焦眉ノ急ヲ告ケ居ル實情ニ付貴地輸  
出米買付價格ノ決定及之カ圓滑ナル積出方法ニ付テハ此ノ  
上トモ關係ノ向ニ適宜指導鞭撻ヲ加ヘラレ當地向ケ積出費  
ノ嵩マラサル様御監督アランコト希望ス

大臣へ轉電セリ

一、三菱扱ノ貴地輸入「タイ」米價格ハ白米二號鹿當リ C I  
F 特別圓二百六十圓ナルカ大藏省ニ於テ新券百元ヲ特別  
圓拾圓ニ仕切ル關係上一千六百元トナリ更ニ右ヲ軍票ニ  
換算(「レート」拾八圓)セハ軍票約五百圓トナリ百斤當  
リ約三拾圓トナル又碎米ハ右價格ノ約八十五「パーセン  
ト」トシテ二十六圓見當トナル次第ナリ

二、輸入外米價格ノ昂騰ハ上海ニ於テモ問題トナリ特別圓ヲ  
十圓ニ仕切ル點ニ付テハ大藏省ト折衝シタルモ同省トシ  
テハ對日輸入物資ニ付特別圓ヲ利用スル關係上右「カバ」  
ヲ求ムル必要アル爲容易ニ變更ヲ肯セサル次第ナルカ今  
後ハ三菱扱ノ分ハ現在ノ價格ニ安定スル見込ナリ

三、尙貴地卸賣價格ト小賣價格トノ間ニ約九圓ノ大幅ノ開キ  
アル處當方參考迄ニ其ノ間ノ諸掛明細回電アリ度  
盤谷へ轉電セリ

### 汕頭におけるタイ米輸入價格高騰の理由説明

について

本省 8月12日後8時30分発

第六六號(極祕)

貴官發「タイ」宛電報第七號ニ關シ

日本は食糧問題を解決して中国人の対日依存  
を増加させるべしとの周作民内話について

911 昭和17年8月12日

東鄉外務大臣より  
在汕頭高井領事宛(電報)

### 汕頭におけるタイ米輸入價格高騰の理由説明

について

本省 8月12日後8時30分発

第六六號(極祕)

貴官發「タイ」宛電報第七號ニ關シ

日本は食糧問題を解決して中国人の対日依存  
を増加させるべしとの周作民内話について

912 昭和17年12月16日

在京塩沢公使より  
青木大東亞大臣宛(電報)

付記 作成日、作成局課不明

「昭和十八年度支那食糧對策概要」

北 京 12月16日後發  
本 省 12月16日夜着

第二九七號

來燕中ノ周作民ノ十五日原田ニ爲セル内話要領左ノ通

一、余ハ大東亞戰爭勃發當時偶々香港ニ在リ憲兵隊監視ノ下

ニ三ヶ月半抑留セラレ其ノ間憲兵ハ余ヲ重慶側ノ要人トシテ遇シタルモ余ハ重慶ニ執リテハ不要人ニシテ大東亞

戰爭勃發前迄ハ上海ニ於テ當時重慶側「テロ」團ハ襲ハレ居タルモノナリト説明シ置キタルカ現在トナリテハ右

重慶側監視モ無クナリタル次第ニ付今後ハ頻繁ニ北支ニモ來ル積リナリ

二、華北ノ建設ハ中南支ニ比シ顯著ナルモノアルニ吃驚セル

カ右ハ通貨制度ノ確立ト治安工作ノ成功ニ歸着スルモノ

ナルヘキカ北支ニ於テモ中南支同様民食問題ノ重大化シ

居ル點ハ注意ヲ要スヘク北支人ハ麵粉ノ外ニ雜穀ヲモ混食スルヲ以テ米食一天張ノ中南支ニ比シ補充ハ容易ナルヘキカトモ思ハルモ何レニセヨ民食問題ニ對シテハ全

(付記)

一、支那食糧需給推算  
昭和十八年度支那食糧對策概要

支那全域ノ戰前食糧輸入高ハ概ネ一五〇萬噸ナリ、昭和十八年度ニ於テハ集荷率ノ強化、配給製度ノ確立、強度ノ消費規正ヲ爲スモ尙且約八〇萬噸ノ食糧ヲ輸入スルノ

支ヲ通シテ一貫セル對策ヲ講スル要アリ現狀ノ儘推移スルニ於テハ隨所ニ不祥事件ノ發生ヲ保シ難シ大東亞戰爭勃發後ニ於テハ米英ヲ共同ノ敵ト爲ス觀點ヨリ支那人ノ考ヘモ變化シ來リ日支協力ノ機運釀成セラレツツアルヲ以テ日本トシテハ速ニ此ノ民食問題ヲ解決シテ支那人ノ對日依存心ヲ増加セシメ一方支那人ニ對シ納得シ得ル施策ヲ以テ民心ヲ治メ重慶抗戰力ノ潰滅ヲ圖ルヘキニシテ諸般ノ關係ヲ考量シテ茲半年位カ最モ大切ナル時期ト存セラルニ付日本カ此ノ機會ヲ失セサル様切望ニ堪ヘス三、重慶側ノ空氣ハ抗日一天張ニテ和平開談ノ餘地ナシ云々外務大臣ヘ轉報アリタシ

南大、上海、天津ヘ轉電セリ

要アリ、各地別需給ノ概況左ノ如シ

(一) 北支 京津、青島地區以外ノ地區及重要產業從業者以外ノ者ノ食糧ハ各地方ノ自給ニ委スルコトスルモ百十萬噸餘ノ需要アリ右ニ對シ供給ハ在庫、地場供給

ノ外日本ヨリノ輸入(小麥粉一二四萬袋)中支ヨリノ移

入(小麥粉六六〇萬袋)蒙疆ヨリノ移入(雜穀四萬噸)滿

洲ヨリノ輸入(雜穀一七萬噸)等ヲ豫定スルモ約八〇萬

噸弱ニ過ギズ三〇萬噸ノ食糧ヲ補填スルヲ要ス、尙邦

人食糧トシテ別途一六萬石ノ食糧ヲ輸入スル要アリ

(二) 中支 中支ニ於テハ上海民需重要產業從業華人在留

邦人用トシテ上海民需ニ相當ノ壓縮ヲ加フルモ總計三

二九、〇〇〇噸餘ノ需要アリ右ニ對シ地場供給量ハ最

大限、一四五、〇〇〇噸ニ止リ一八四、〇〇〇噸ノ食

糧ヲ補填スルノ要アリ若シ中支產小麥粉ヲ上海民需ニ

充當スルトセバ概ネ自給シ得ベキモ北支ハ食糧習慣上最

モ需要ナル小麥粉ノ最大給源ヲ喪失シ北支食糧事情ハ

收拾スペカラザルニ至ルベシ

(三) 南支

(イ) 廈門 需要量約二五、〇〇〇噸ニ對シ地場供給二、

〇〇〇噸ニ止リ二三、〇〇〇噸ノ補填ヲ要ス

(ロ) 廣東、汕頭 需要量一九一、〇〇〇噸ニ對シ地場供

給五〇、〇〇〇噸ニ止リ一四一、〇〇〇噸ノ補填ヲ

要ス

(ハ) 海南島 需要量約一五〇、〇〇〇噸ニ對シ九〇、〇

〇〇〇噸ノ地場供給ニ過ギズ約六〇、〇〇〇噸ノ補填

ヲ要ス

(四) 香港 一般民需ノ外工場從業員等ヘノ増配ヲ考慮シ

一〇〇、〇〇〇噸ノ需要アルニ對シ地場供給ハ皆無ニ

シテ全部ヲ補填スルヲ要ス

三、昭和十八年度支那向食糧輸入ニ關スル見込

(一) 產地事情泰ノ水害等ニ依リ佛印、泰ノ輸出力ハ合計一

四〇萬噸程度ニ減少シタルニ對シ支那ノ需要ノ外日本、

朝鮮等ノ需要亦織烈(織カ)ナルモノアルヲ以テ船舶事情等ノ

爲時期的ニハ產地輸出力ニ多少余裕ヲ生ズルノ時期アルベキモ年間ヲ通ジテ見ルトキハ從前ニ□キ逼迫シタ

ル狀況ヲ呈スベシ依テ支那向食糧ハ可能ナル限り早期

ニ確保シ置クヲ要ス

(二) 支那向食糧輸入船舶

東亞海運現有船舶ヲ食糧ノ爲最大限度ニ利用スルノ外  
目下現地海軍武官府ト折衝中ノ現地特殊船ノ利用可能  
ナリトスルモ一六四、〇〇〇噸ノ船腹ニ過ギズ尙中央  
配船ハ一一〇、〇〇〇ニ概定セルヲ以テ合計年間三七

四、〇〇〇噸ノ船腹ニ止リ支那向要輸入數八〇萬噸ニ

對シ約四割五分ニ過ギズ然モ各般ノ情況ヨリスレバ昭  
和十八年度ニ於テ右程度ノ船腹ヲ確保スルコトスラ甚  
ダ困難ナルト思料セラルルヲ以テMM船ノ利用等ヲ別  
途至急考究スルノ要アリ

|       |       |
|-------|-------|
| 北支    | 一一千噸  |
| 中支    | 九三 // |
| 南支    | 六四 // |
|       | 二〇    |
| 廣東、汕頭 | 三六    |
| 海南島   | 八     |

(二)自給率增强對策

(イ)食糧農產物ノ增産ニ努力ヲ傾倒スルコト即チ北支ニ

於テハ既定增産計畫ノ徹底的遂行ヲ期シ中支ニ於テ  
ハ增産ニ關スル態勢ヲ至急ニ整備シ蒙疆ニ於テモ食  
糧增産ニ特段ノ努力ヲ爲スコト

(ロ)收買機構ノ整備強化ヲ圖リ收買量ノ增加ニ務ムルト  
共ニ關係機關一致協力シ各地區ノ食糧封鎖主義ヲ打  
破シ食糧ノ公正圓滑ナル交流ヲ圖ルコト

(ハ)集荷率ノ増加ヲ圖ル爲生産資材及生産者生活必需品  
ノ配給ヲ集荷ト有機的ニ關聯セシムル如ク施策スル

(一)輸入對策

支那各地區ニ對シ重點的輸入方策ヲ採リ北支ニ最モ重  
點ヲ置キ南支ハ強度ノ規正ヲ行フコトトス香港ハ地場

コト

供給皆無ナル特殊事情ヲ考慮スルヲ要ス右ニ依リ地域  
別割當ハ一應左ノ通りトス

(二) 收買價格ハ生産者ノ退藏及敵地區ヘノ流出ヲ防止シ得ル如ク隨時適切ナル措置ヲ講ズルコト

(三) 北支ノ來小麥年度、收買目標ハ最少限七〇〇萬擔トシ之ガ確保ヲ圖ルコト

(四) 中支ノ來小麥年度ノ生産目標ハ二、〇〇〇萬袋ヲ下ラザル様努力スルコト

### (三) 配給消費規正對策

(一) 食糧配給機構ヲ整備シ特ニ重要產業ノ必要勞動力ノ定着確保及勞資暴騰防止等ヲ圖ル爲重點的食糧配給制度ヲ確立スルコト

(二) 不生産人口ニ對スル消費ヲ極度ニ規正スルコト

(三) 制粉歩留ノ向上、代用粉ノ混入ヲ實行スルコト

(四) 上海、北京、天津等ニ於ケル不生産人口ノ疎散方策ヲ實施強化スルコト

### 四、最近ニ於ケル支那食糧情況

(一) 北支 大東亞戰前輸入セル小麥粉ストツクハ減少ノ一途ヲ辿リ居リタル處去ル十二月六日以降京津ノ情況ハ急速ニ惡化セリ、其ノ事例ヲ一、ニ摘記スルニ

(二) 十二月ニ入りテ天津ニハ食糧ニ關スル小競合頻發ス

就中、天津附近、北塘鎮(漁村)ニ於テ三、四〇名ノ暴民雜穀商ヲ襲ヒ、高粱三〇袋ヲ強奪ス、北塘鎮ハ昭和十四年暮ヨリ十五年春ニ瓦ル華北食糧危機ニ於テモ最初ニ事件ヲ惹起シタル所ナリ

(三) 天津佛租界巡補ハ特配小麥粉ノ配給ニ關シ、民衆ト對立シ騷擾ヲ起シ不穩ノ形勢アリ

尙且下第五次治安強化運動ヲ展開中ナルモ、支那側要人ハ一齋治安強化ハ一二懸ツテ食糧問題ノ解決ニアリトシ、對策ヲ要求シツツアリ物價處理委員會ノ形勢モ同様ナリ

依テ右情勢ニ鑑ミ舊正前緊急對策ヲ樹立シ、思惑傾向ヲ肅正スルト共ニ、特ニ舊正前ニ北支地域内外ヨリ京津、青島ニ食糧ノ集積ヲ促進シ且舊正前ニ適量ノ放出ヲ爲シ、此ノ時期ノ不安ヲ緩和シ來ルベキ端境期ニ備フルコトニ關シ施策ヲ講ジツツアリ

(二) 中支 十二月十日現在ニ於ケル統制米在庫高ハ四、〇〇〇噸ニ過キズ相當窮迫シツツアリ

吾自昭和一七、一至一七、一一支那向食糧輸入實績

北 支 六、〇〇〇噸(八、一二五九)

七 「大東亜共栄圏」における食糧問題

中 支 六六、一四五屯(七四、六七五)

廈 門 一〇、一八九屯

廣東汕頭 二三、五一九屯

香 港 三八、〇七五屯

海 南 島 四、一〇六屯

計 一四八、〇三四屯(一五八、八二三屯)

**編注** 本付記文書は農林水産政策研究所所蔵、大東亜省支那事務局農林課作成、「食糧対策ニ關スル綴 其ノ四

(昭和十八年度)」より採録。

913

昭和18年1月28日

在中国重光大使より  
青木大東亜大臣宛(電報)

「對支新政策」の効果的実施のためにも上海  
地区での食糧供給策の早急実行方要請

南京 1月28日後発

本省 1月28日後着

上海公使發貴大臣宛第二二二號ニ關シ  
第一六六號

中支就中上海民食物供給策ノ確立ハ我方新政策ノ實施ヲ效果的ナラシムル爲ニモ早急ニ實行セサルヘカラサル絕對要件ナリト思考セラル

即チ今日上海住民ハ飢餓ヲ訴ヘ居ル狀態(一人一日當リ米約一六〇瓦、麵麪<sup>(マヌ)</sup>約一合、小麦粉工部局管内七〇瓦、市政府管内五〇瓦、米及小麥粉合計工部局管内二三〇瓦、市政府管内二一〇瓦ノ配給アルノミニテ周邊地區ヨリノ輸入ハ月初メ以來禁止セラレ居リ)ニ在ルヲ以テ租界還付、治外法權撤廢等ノ政治問題ニハ耳ヲ藉スノ餘裕無シ此ノ間敵側ノ策動ニ乗スルアリ萬一軍隊ニ依リテ暴動ヲ鎮壓セサルヘカラサルカ如キ事態發生セハ今次我方針ハ新政策ニ對スル大ナル故障トナルヘキヲ憂慮セラル

本件對策ニ付當館及上海大使館事務所モ憂慮シ居ルト共ニ腐心シ居ル處二月ノ米穀需給ニ付テハ上大宛第七二號電通リ糧食管理委員會買付米ノ供出ヲ歎クトモ現行ノ一人當リ月四、八既ヲ確保スルハ勿論若干ノ增量モ計リ度キ所存ナルカ如何スルモ今後猶外米ノ輸入ニ依存セサルヘカラサル狀態ナルニ付昭和十八年度對中支外米輸入計畫量ヲ一三萬噸ニ增量方竝右輸送ニ必要ナル船腹手配方御配慮相煩度

尙伊太利籍船腹ノ利用ニ付曩ニ本使ヨリ電請シタル件ニ付  
テモ至急御配慮相成ルト共ニ堀内公使一行上京出張中支那  
事務局ニ折衝シタル外米輸入特別圓「レート」ノ引上ニ關  
シ其ノ後大藏省ト交渉ノ結果御回電相成度

上大ニ轉電セリ

~~~~~

914 昭和18年4月19日 在北京塩沢公使より
東条大東亞大臣事務管理宛(電報)

現銀協定に基づく輸入麵粉等及び食糧対策に
關する南京国民政府側の要望容認方意見具申

北 京 4月19日後発
本 省 4月19日後着

第九五
一號

現銀協定ニ依ル輸入麵粉等ハ華北救濟委員會附屬平糶辨事
處ニ於テ保管シ來リ現在高麥粉約一〇萬袋、預金元利計約
八百萬圓ナル處政務委員會ニ於テハ刻下ノ食料事情ニ對處
スル爲

一、救濟委員會及附屬平糶辨事處ハ廢止シ

二、麥粉一〇萬袋ハ新設ノ物資物價處理委員會附設食料管理

局ニ移轉引繼タル上雜穀ニ替へ其ノ一部ヲ此ノ際食料對
策ニ使用シ殘部ハ引續キ救濟用トシテ保存スルコト
三、預金ハ物資物價處理委員會附屬ノ物資平衡資金運用委員
會ニ於テ引繼キ別勘定トシテ保管スルコト
ト致度キ旨希望越セリ

當方トシテハ本件措置ハ支那側カ食料問題ヲ自守的ニ且機
構モ整理シテ統一的ニ處理スル意嚮ノモノナルノミナラス
麥粉ヲ右申越ノ如ク使用スルハ救濟用麵粉タル元來ノ性質
ニモ適スル次第ナレハ支那側ノ希望ニ副フコトトシ但シ本
件麥粉ノ現銀協定以來ノ性質ニモ鑑ミ今後トモ我方ト充分
聯絡ノ上處理セラレ度キ旨申添ヘ之ヲ機會ニ本件ノ處理ヲ
支那側ノ責任ニ移スコトト致度ニ付御諒知置ヲ請フ
外務大臣ヘ轉報アリ度

南大、天津ヘ轉電セリ

~~~~~

915 昭和18年5月16日 在汕頭松原(久義)領事より  
青木大東亞大臣宛(電報)

汕頭における米価高騰状況につき報告

七 「大東亜共栄圏」における食糧問題

第一〇九號(大至急)

汕頭 5月16日後発  
本省 5月16日後着

本官發廈門宛電報  
第一六號

當地輸移入米ノ過少、長期旱魃ニ依ヌ稻作不況竝ニ今次廣東爆擊、當地ニ於ケル警戒管制實施等ニ依リ民心ノ動搖華商ノ思惑賣惜ニ依リ米價ハ十三日闇ニテ百斤三千二百元(軍票五七六圓、一升當リ一四圓四〇錢)ニ暴騰シ漸騰ノ趨勢ニアリ十二日難民約二百名市政府ニ殺到シ市内ニ、三ノ菓子店、食料品店ニ於テハ掠奪ヲ敢行スル等憂慮スヘキ狀態ナリ

當地民食米逼迫シ餓死者續出シ暴動勃發ノ懸念アル實情ニ付貴地在庫米中最低五百屯(乃至「メリケン」粉相當量)ヲ借用願度右ハ七月以降餘剩ヲ生シタル時返却致度何分ノ儀至急御回電ヲ請フ

大臣へ轉電セリ

(軍票五七六圓、一升當リ一四圓四〇錢)ニ暴騰シ漸騰ノ趨勢ナリ

態ナリ

南大、上大、廣東へ轉電セリ

916 昭和18年5月19日 在汕頭松原領事より  
青木大東亜大臣宛(電報)

汕頭での食糧逼迫につき廈門からの融通要請

について

汕頭 5月19日後発  
本省 5月19日後着

第一一六號(至急)

917 昭和18年6月30日 在上海田尻公使より  
青木大東亜大臣宛(電報)  
上海における危機的な食糧状況に關し南京国民政府へ大至急対応方要請について

上海 6月30日後発  
本省 7月1日前着

第一七一一號(大至急)

本使發南大宛電報

第七六四號

一、上海ノ食米不足カ如何ニ憂フヘキ狀態ニアルヤニ付テハ屢次ノ電話電報ヲ以テノミナラス過般赴寧ノ際親シク事

情ヲ述へ置キタル通リナルカ貴方及總軍ノ御努力ニ拘ラ  
ス糧食部ニ於テハ無責任ナル机上ノ收買積取計畫ヲ云々  
シ空虛ナル命令ヲ出シ居ルノミニテ實際茲三週間以來地  
場米ノ搬入ハ全ク杜絕シ之カ爲七月上旬ノ食米ハ工部局  
管内一般日本人ニ對シ而モ食堂等ノ如キ大口配給ヲ止メ  
漸ク〇、八廷(月一、四廷ニシテ今日迄ノ半額ナリ)ノ外  
米ヲ配給シ市政府持込ミニ付多少トモ從來配給カ遷延シ  
居ルヲ幸ヒ上旬ノ手當ハ一切取止メ頬冠リニテ行クコト  
トシ不取敢急場ヲ凌クコトシタルカ右外米スラ三、四  
日後ニ非ラサレハ配給行キ渡ラス小麥粉ヲ以テ兩三日ハ  
我慢セシメサルヲ得サル窮境ナリ

二、糧食部ヨリハ兩三日前當地糧食委員會及聯營社ニ對シ蘇  
州ニ一萬廻アルヲ以テ積取ルヘシトノ命令アリ之ニ應シ  
聯營社出向キタルモ遠隔ナル田舍ノ庭先ニ散在シ到底積  
取ヲ爲シ得サル狀態ニアリ

ク此ノ狀況ノ儘中旬ニ入ルニ於テハ上海ノ治安ニ由々シ  
キ影響ヲ與フルノミナラス上海人ハ有ルカ無キカノ狀況  
ノ米ヲ求メテ買煽り物價ハ更ニ一齊ニ暴騰ヲ演シ人心ハ  
完全ニ國民政府ヲ離レ租界返還ノ如キ日本ノ絶大ナル好  
意モ何等政治的效果ヲ現サス重慶側ニ惡宣傳ノ材料ヲ與  
ヘルノミニ結果トナルヘク事茲ニ至リテハ國民政府ノ政  
治力強化ヲ云々スル前ニ國民政府ニ政治ヲ爲ス意志アリ  
ヤ否ヤニ付根本的ニ疑問ヲ懷カサルヲ得ス

三、就テハ汪主席以下國民政府幹部ニ對シ上海ハ外國ニ非ス  
國民政府カ民心ヲ把握スヘキ重點ナルコトニ付其ノ猛省  
ヲ促サレ眞劍ニ上海ノ食米手當ヲ大至急講セシメラルル  
様致度既ニ國民政府乃至ハ糧食部内部ニ於ケル責任ノ擦  
リ合ヒ或ハ机上ノ收買積取計畫ニテ誤魔化ス時期ハ過キ  
凡ユル手段ヲ盡クシ七月中旬ヨリハ少クモ地場米一、四  
廷ノ配給ヲ爲サシムルニ非ラサレハ國民政府ハ怨嗟ノ的  
トナリ又我カ對支政策モ根底ヨリ影響ヲ受クルニ至ルヘ  
キニ付此ノ上トモ重ネテ御高配ヲ得度

尙外米ノ手持モ枯渴シ小麥粉ハ端境期ニアル爲七月一杯  
ハ增配ノ見透シ附カス上海ノ食米ハ全ク危機ノ狀態ニア  
サトヲ以テ上海ノ食米ノ具體的手當ヲ爲シ居ルヤ疑ハシ

ルニ付右東京ニ於テモ含ミ相成外米ノ手當ニ格段ノ御配

慮ヲ得度

大臣へ轉電セリ

918 昭和18年7月6日

在上海田尻公使より  
青木大東亞大臣宛(電報)

### 上海における食糧事情に鑑み外米確保に配慮

#### 要請について

上海 7月6日後発

本省 7月6日夜着

第一七七五號

本使發南大宛電報第七六四號ニ關シ

當方ノ要請ニ基キ南京ニ於テ本件緊急對策ニ關シ支那側糧

食部長以下關係官日本側南大、上大及總軍關係官參集ノ上

會議アリタル處糧食部長ヨリ今後二ヶ月ニ亘り蘇州地區ニ

テ一五〇〇〇噸宛上海向供給可能ナルヘキ旨並不取敢七月

上旬中ニ成ルヘクハ五日迄ニ五〇〇〇噸現地ニテ上海聯營

社ニ引渡スヘク右ハ責任ヲ以テ實行スル積リナルニ付運輸

其他ニ關シ日本ノ協力ヲ切望スル旨發言アリタル趣ニテ受

渡場所輸送方法等ニ關シ糧食部南大及當館關係官等蘇州ニ出張具體的ニ協議スルコトトナレリ

當方トシテハ差當リ右ヲ促進スル以外方法ナシト認メ極力糧食部側ヲ鞭撻督勵スルト共ニ所要ノ協力ヲナス意図ナル

モ同時ニ外米ニ付テモ之ヲ確保方別段ノ御配慮ヲ請フ

南大へ轉電セリ

919 昭和18年7月13日

在上海田尻公使より  
青木大東亞大臣宛(電報)

### 南京国民政府の政治を浸透させるためにも上

#### 海配給米価格引下げを要求について

上海 7月13日後発

本省 7月14日夜着

第一八五一號

本使發南大宛電報

第八一四號

貴電第五五二號ニ關シ

一、糧食部供出米ニ關スル實情ニ付テハ本日迄ノ報告ニ依レ

ハ蘇州渡シ一、六〇〇噸カ十日ヨリ十四日迄ニ貨車積豫

上海における食米対策に関する南京国民政府  
との交渉振りにつき報告

定ナルモ未タ着荷ナシ隨テ中旬ハ主トシテ外米ヲ以テ  
旬〇、八廻ノ配給ニ止メルノ外ナキニ付此ノ上トモ糧食  
部ヲ鞭撻方御高配アリ度

尙蘇州管内殘額ノ八、四〇〇廻、湖州三、〇〇〇廻、楊

州二、〇〇〇廻ノ荷渡ニ付テハ市政府及聯營社ノ活動ヲ

促進シアルモ未タ確實ナル報告ナク引繼キ注意ヲ要スル

モノト認メアリ

二、糧食部ハ上海配給米ノ奥地渡一石八五〇元ト豫定シ居ル

處右ニ依レハ外米七五〇元(現在ノ七割増)トナリ物資ノ

對策上ハ元ヨリ租界還付ノ際ニモアリ國民政府ノ政治力

浸透ノ爲ニモ精々六〇〇元止リニ落着ケ度ニ付奥地渡値

六五〇元トスル如ク強ク要求セラレ度

右ニ依リ糧食部ハ相當ノ損失ヲ蒙ルヘキモ右ハ國民政府

ノ政治力發揮上當然負擔スヘキモノト認メラル

本件ハ國民政府幹部トモ政治的ニ詰合ヲ進メラレ度

大臣ヘ轉電セリ

南京 7月14日後発  
本省 7月14日後着

第一二八八號

本使發上大宛電報

第五八八號

貴電第八一四號ノ二、ニ關シ

六月分糧食部米供給價格ニ付十三日顧、周兩部長ニ對シ政

治的觀點ヨリ再考方ヲ促シタル處五、六兩月分一率八〇(律カ)

「キロ」當リ六五〇元トスルコトニ内諾ヲ得タルニ付五月

分ハ右ニ依リ米配ヲシテ清算セシメラレタク又六月分ニ付

テハ曩ニ糧食部ヨリ貴地配給委員會ニ對シ八五〇元ノ割合

ニテ支拂方指示アリタル次第モアリ委員會ヨリ六五〇元ニ

變更方申請ノ手續ヲ採ラシムル様取計相成度(委細十四日

石井參事官ヨリ内田調査官ニ電話連絡濟)尙右ニ依リ糧食

部ニ於テ生スヘキ損失ニ付テハ中國側ハ財政的措置ニハ困

難多キヲ以テ將來商統會カ米ノ蒐買ニ當ルコトナル關係

モアルニ付同會ノ綜合的價格操作ニ依リ之カ補填方法ヲ講

セシムルコトヲ希望シ居レルモ右ニ付テハ更ニ打合度キニ付御含ミ置キアリタシ

追而右ノ供給價格ヲ基準トシ上海ニ於ケル配給價格ニ變更ヲ加ヘル際ハ其ノ都度當方ニ御通報願度

大臣へ轉電セリ

921 昭和18年7月16日 在中國谷大使より

青木大東亞大臣宛(電報)

### 上海における米穀收買供給業務の移管について

南京 7月16日前発  
本省 7月17日後着

第一三〇二號

七月七日第二回物資統制審議委員會ニ於テ顧糧食部長ヨリ提案アリタル米穀ノ收買供給ニ關スル業務ヲ糧食部ヨリ商

統會ニ委譲スルノ件(往電第一二五二號參照)ニ付十四日當地ニ於テ特別委員會ヲ開催(中國側周、顧兩部長、袁次長、經理總監署長、樺島顧問、商統會唐理事長代理羅氏、日本側堀内公使、石井參事官、上大立川書記官、總軍内(人名不明)大佐出席)シ極祕裡ニ意見ノ交換ヲ爲シタリ席上顧米

長ハ移管實行ヲ諒解シ新米ノ出廻前成ルヘク速カナルヲ要スル旨力説シタルニ對シ商統會側ハ移管ニ際シテハ先ツ買付方法ヲ具體的ニ決定スルヲ要シ然ラサレハスル重大ナル業務ヲ引受クルヲ得サルニ依リ當分ノ間寧口從來ノ通り糧食部ニ於テ收買ニ當ルヲ希望ストノ消極的意見開陳スルトコロアリタリ補助買付方法ニ付テハ必スシモ商統會自身收買ニ當ルノ要無ク糧食部ノ下部機構タル聯營社ノ組織ヲ其ノ儘引繼キ之ヲシテ收買ニ當ラシメ商統會ハ其統制機關タル地位ニ立ツツヲ以テ足ルヘシトノ議論モ出テ結局「新米ノ買付開始時期ヲ目途トシテ一應之ヲ實行スルコト」ニ決議スルト共ニ買付方法ニ付テハ中日關係當局ニ於テ商統會ノ意見ヲ充分尊重シテ具體案ヲ自然ニ決定スルコト並商統會ノ米收買及統制ニ付テハ日支各機關ハ全幅ノ協力ヲ與フルコトニ諒解成立シタリ

922 昭和18年8月3日 在上海田尻公使より

青木大東亞大臣宛(電報)

「對支新政策」を効果的ならしめるため食米の配給價格維持方要請について

上海 8月3日前發  
本省 8月3日前着

第二〇六六號

本使發南大宛電報

第八九七號

貴電第六二六號ニ關シ

糧食部米カ貴電ノ如ク値上トナラハ配給價格ハ八、九百元

ニ騰貴スヘシ然ルニ緊急經濟對策ノ實施立租界返還ト時ヲ

同シクシテ諸物價ノ基礎ヲ爲ス民衆生活ノ基底ヲ爲ス米價ニ付更ニ引上ヲ爲サハ我方ノ意圖スル劃期的ナル政治的經濟的效果ヲ全空ニ歸セシメ關係各方面ノ絶大ナル努力ヲ徒勞ニ終ラシムルコトトナルニ付九月一杯ハ現行配給價格ヲ維持シ得ル様國民政府米ノ受渡値ヲ固定セシメ度、右ニ依リ國民政府ノ蒙ムルヘキ損失ハ儲備銀行ニ對スル借越又ハ今次經濟施策ニ依ル調整料ニテ補填スル方法ヲ講シ得ルモノト存スルニ付此ノ上トモ格段ノ御高配ニ依リ六月分ト同程度ノ價格ニ依リ供給切望ス

大臣ヘ轉電セリ

923

昭和18年8月26日 在中國谷大使より

青木大東亞大臣宛(電報)

蘇浙皖食米買收計画及び收買新組織設立をめ

ぐる経緯について

南京 8月26日後發  
本省 8月27日前着

第一五〇〇號

貴電第一三八一號ニ關シ

蘇浙皖三者ニ於ケル食米ノ收買ニ關シテハ今春全國商業統制總會設立ノ際ノ他ノ重要物資ノ收買ト共ニ同總會ヲシテ之ヲ擔當セシムル方針ナリシモ之カ爲有力ナル下部機構ノ結成ヲ要スル外當時米穀年度ノ中途ニ在リ糧食部ニ於テ銳意收買中ナリシ關係ヨリ機構ノ變革ハ新米穀年度ヲ待ツコトトシ同總會成立後モ食米ハ例外トシテ糧食部ニ於テ從來通之力收買ニ當リ來レル處新米穀年度モ迫リ糧食部ニ於テ四月末日本軍ヨリ移讓ヲ受ケタル清鄉地區ニ於ケル收買成績芳シカラス同地區ヨリノ軍米及上海民需米ノ供給甚々不圓滑ナル爲(六月ヨリ九月迄ノ供出責任量一〇萬噸ニ對シ最近ニ至ルモ收買量四萬噸供出量二萬噸ヲ出テサル狀況ナ

リ)同部ノ收買ヲ商統會ニ引繼カスコト適當ト認メラレ往電第一二三五二號申進ノ通七月七日開催ノ第四回物資統制審議委員會ニ提案シ新年度ヨリ食米ノ收買ヲ商統會ニ移讓スルコトニ決定セリ然ル處其ノ後商統會ニ於テハ收買時期ノ切迫機構ノ未整備人材及經驗ノ缺如等ヲ理由トンテ縷々實行上困難ヲ具陳シ來リ陶理事長ハ米穀收買ノ重大ナル責任ヲ負擔シ得ストノ意図ヲ明示シ來リタルヲ以テ八月五日上海ニ於テ開催ノ第五回審議委員會上海事務所商統會糧食部大使館陸海軍主務者ヲ以テ構成スル特別小委員會ヲ設ケ商統會ヲシテ充分確信ヲ以テ收買ニ當ラシメ得ヘキ具體案ヲ作成答申セシムルコトナリ右具體案ノ内收買計畫要領ニ付テハ其ノ後數回右小委員會ヲ開キタル處當大使館側委員トシテハ中國側商社ヲ中心トシ從來ノ移動取締等ニ伴フ弊害ニ鑑ミ能フ限り此ノ種強權的處置ヲ排シ商業的手段ヲ以テ軍民需米ノ收買ヲ爲スコトヲ主張シタルモ軍需米絕對確保ノ立場ヨリ軍側委員ノ同意ヲ得ス結局日本側委員ノ間ニ於テ軍需米供給地域及民需米地域ヲ分チ前者ニ於テハ主シテ日本商社ニ後者ニ於テハ主シテ中國側商社ニ當ラシムヘキ本年三月以前ノ體制ニ酷似セル別電第一五〇一號及

第一五〇二號ノ如キ要綱案ヲ採用スルコトニ意見一致セリ依テ右要綱ハ堀内公使ヨリ周財政部長ニ説明承認ヲ得タル上同部長ヨリ商統會陶理事長ニ對シ右要綱案ヲ示シ百方引受方ヲ勧誘シタルモ尙其ノ態度變更ヲ見サリシヲ以テ十七日堀内公使ハ豫メ周部長ト打合ノ上周作民、林康候等上海經濟界長老ト懇談シタル結果米ノ收買ハ商統會ノ純然タル下部機構ニ擔當セシムルコトトセハ其ノ代リ上海市商統會理事長袁履登ノ出馬ヲ求メ同人ヲ委員長トシテ商統會ノ外局タル委員會ヲ組織シ袁ノ下ニ商統會中國側商社及日本側商社ノ代表ヲ配シ外局委員ト爲シ之ヲシテ收買ヲ擔當セシムルコト最モ適當ナルコトニ意見一致シ唐樹民モ同意セリ其ノ後田尻公使及周作民ヨリ袁履登ニ對シ右筋ニテ引繼方交渉シ大體其ノ同意ヲ得ル様ニ運ヒタルカ(近ク市商會幹部ニ附議スル筈)本收買對策ハ至急實行準備ヲ進ムル要アルヲ以テ未タ商統會側及袁履登ノ確定的同意ヲ得サル儘二十四日同地ニテ開催ノ第六回物資統制審議委員會ニ前記收買計畫要綱ヲ附議セルヲ以テ當大使館側ヨリ本件ハ尙中國側實業有力者ト話合中ナルヲ以テ右話合ノ結果外局ノ構成商統會ノ責任ノ範圍其ノ他ノ點ニ關シ內容ノ修正アルヤモ

知レサルヲ以テ此ノ點ヲ留保シ本案ノ採決方提議シタル處

審議委員會トシテハ此ノ點ニ付決定ヲ避ケ行政院ニ於テ本

案實施決定ノ際右ノ點ニ付豫メ日本當局ニ聯絡スルコトノ

諒解ヲ附シ前記要綱案ハ一應其ノ儘承認スルコトニ意見一

致ヲ見タリ

本件ニ關スル最近ノ經過ハ大體上述ノ通ナル處新米穀出廻

リモ間近ニ迫リ糧食部ニ於テハ九月末ヲ以テ收買並ニ配給

業務ヲ打切り度キ意嚮ナルニ付至急新機構ヲ整備シ收買ニ

着手セシムル要アルヲ以テ堀内田尻兩公使ヲシテ更ニ周部

長陶理事長及袁履登等ト具體的協議ヲ爲サシメ時ヲ移サス

實行ニ着手セシムル様努力中ナル處進展模様ニ付テハ逐次

電報ス

上大ニ轉電セリ



924  
昭和18年9月2日

在上海田尻公使より  
青木大東亞大臣宛(電報)

### 新米買収に向けた新組織設置に合意について

付 記 昭和十九年二月二十三日付、南京總領事館作成  
「南京地方ニ於ケル食糧難ニ關スル件」

第三三九八號

南大發大臣宛電報第一五〇〇號ニ關シ

其後斡旋ノ結果二十八日周佛海ハ唐樹民及袁履登ト會談ノ

上米ノ收買機構結成ニ付原則的意見ノ合致ヲ見十月一日ヲ

期シテ收買ニ着手スルコトナレリ新機構ハ袁ノ下ニ林康

候、羅商統會(二字不明)支那側米商人四名ノ外日本側ヨリ

三、四名參加スル筈ニシテ物價統制審議會上海事務所中心

トナリ機構整備ニ着手ス

南大ヘ轉報セリ

(付 記)

昭和一九、二、一三

南京地方ニ於ケル食糧難ニ關スル件

南京總領事館

客年九月糧食部ニ代リ中支ニ於ケル米穀收買及配給事務ヲ  
專掌スル爲米統會成立セルカ部内機構及陣容ノ整備暇取り  
容易ニ事業緒ニ就カス南京區辦事處管轄區域南京特別市、

上 海 9月2日後發  
本 省 9月2日後着

## 七 「大東亜共栄圏」における食糧問題

江寧、句容、溧水、江浦、六合ノ一市五縣ノ如キハ十一月初開設セラレ收買事務力軌道ニ乘レルハ十二月中旬以降ニ屬シ自然米穀出廻リ最盛期ニ於ケル收買ヲ逸セルト殊ニ同辦事處主任及副主任等首脳者ハ概ネ銀行出身者ヲ以テ占メラレ米穀方面ニ付テハ素人ナル爲實際收買ノ衝ニ當ル委託商(現在指定商二十二軒)ニ對スル指導及監督十分行ハレサル等ノ理由ニ依リ收買成績ハ異常ノ不振ヲ示シ今日迄ノ實績ハ當地區責任收買量七〇、〇〇〇石ノ一割程度ニ過キサル狀態ナリ

從テ當地市政府ハ昨年十月頃ヨリ一般市民ニ對スル切符制官米配給ニ支障ヲ來シ月中、下兩旬ハ配給ヲ中止シ翌十ー月分ハ糧食部ヨリ手持米ノ補給ヲ得辛ウシテ事ナキヲ得タルカ十二月以降ハ辦事處ヨリノ供給ナキ爲全ク配給不能ニ陥リ各方面ヨリ非難ノ聲昂レルヲ以テ種々折衝ノ結果漸ク本年二月ヨリ配給ヲ再開セリ

市政府カ官米配給ヲ中止セル月別統計ヲ示セハ左ノ通

昭和十八年 十月 中旬及下旬

〃 十二月 上、中、下旬

〃 十九年 一月 〃

(市政府ニ於ケル官米配給基準量ハ大人一人當リ一日四市合及小人(八才未満)同二市合トシ十日毎ニ一回ノ割合ニテ指定配給店ヨリ購米證ニ依リ配給ス)

然レトモ當地辦事處ニ於テハ米統會ノ指示ニ依リ前記買付米中ヨリ上海向移送セル分ハ相當多量ニ上リ且下同辦事處手持米ハ僅ニ三〇、〇〇〇市石程度ニ過キサル由ニテ當市民一ヶ月需要量約六〇、〇〇〇市石スラ支ヘ切レサル實情ナリ今後同辦事處ノ收買成績如何ハ最モ注視ヲ要スル所ナルカ前記諸事情ト目下當方面米穀市價ハ一市石二、六〇〇元以上ニ暴騰シ而モ騰勢止マサル有様ニ鑑ミ現在ノ買付公定値ニテハ到底豫定ノ收買成績ヲ舉クルコト出來サルヤニ思料セラル

市政府ニ於テハ右ノ事態ニ對處スル爲折角善後策ヲ考究中ナルカ米統會ノ取締規定ノ手前モアリ差當リ周邊農民ヲシテ規定ノ範圍内ニ於ケル持込量ニ依リ米穀ヲ市内へ搬入セシメ市價ニテ市民ニ購入セシムルト共ニ周圍各縣ニ於ケル產米ノ他地區向流出ヲ防クヘク計畫シ居レルカ斯ル姑息ナル手段ニテハ何時迄持堪ヘ得ルヤ疑ハシク此ノ際至急根本的對策ヲ講スルノ要アリト認メラル

編注 本付記文書は農林水産政策研究所所蔵、大東亜省支那

見当ラズ

事務局農林課作成、「食糧對策ニ關スル綴 其ノ五(昭和十九、二十年度)」より採録。

合ノ結果ヲ參酌シ本大臣發南大宛別電(見当ラズ)ノ通大本營政府連絡會議了解ヲ得タルニ付了承アリ度 尚本件ハ通貨制度上ニ於テモ中北支間調整ノ限界ヲ示スモノニシテ此ノ點ヨリ見レハ寧口聯銀券ノ地位ヲ安定スルノ效果アリト認メラルニ付御含ミアリ度

925

昭和18年11月12日

青木大東亜大臣より  
在北京塙沢公使宛(電報)

食糧確保等に関する華北地域の中央に對する

要望問題について

本省 11月12日後5時発

第一三八〇號(至急)

北大發南大宛第五八八號ニ關シ

増產及治安ノ關係ヨリ食糧ノ確保ヲ特ニ重要視スル貴電ノ

趣旨ハ當方ニ於テモ克ク了解スル所ナルカ先般貴公使上京

ノ折ニモ本大臣ヨリ御話申シタル如ク蘇淮調整ハ國民政府

ノ育成強化並ニ華北政務委員會トノ地域的調整ノ限界ヲ明

ニスル意味ニ於テ重大ナル政治的意義ヲ有シ調整後ニ於ケ

ル北支ヘノ食糧供給ニ關シテハ中央トシテモ眞ニ重大ナル

關心ヲ有シ居ル處右ニ關シテハ必要ニ應シ凡ユル手段ヲ以

926

昭和19年3月14日

在上海海田尻公使より  
青木大東亜大臣宛(電報)

上海での食米買收措置につき報告

本省 3月14日後6時00分発  
3月14日後11時10分着

第五一四號

貴電第三六〇號ニ關シ

一、米ノ收買ハ舊正明ヶ以來殆ト進展セス二月二十日現在ニ  
テ契約高約三一萬(内甲地區一九萬其ノ檢收高約一〇萬)  
成績不良ナルヲ以テ登部隊ト協議ノ結果(?)國府及民間要  
路ニ手蔓ヲ求メテ米統會ニ入り込ミタル不良分子ノ肅正

## 七 「大東亜共栄圏」における食糧問題

- (回) 同様ノ理由ニ於テ買付指定商トナリ收買ヲ阻害シ居ル  
○○政商ノ整理ハ見返リ物資ノ潤澤ナル供給ヲ斷行スルノ外  
ナキ結論ニ達シ又日本側トシテハ當方及登ニ於テ援助ノ  
責任ヲ負ヒ其ノ他ノ機關ハ口ヲ出サヌコトトシ袁理事長  
ト懇談ノ結果右方針定マリ六日各地買付人ヲ召集シ袁ヨ  
リ激励スルト共ニ當方及登ヨリ
- (イ) 日本側ハ軍需米ト共ニ民需米ノ收買ヲ重要視シ之ニ對  
シ出來得ル限リ協力スルモノナルコト
- (ロ) 收買ハ米統會及指定商ノ責任ニシテ中支那經濟ノ復興  
上重大任務ナルコト
- (ハ) 指定商ヲ利權ト心得私利ヲ圖ルヘキニアラサルコト
- (二) 日支買付商ニ對シ差別待遇ヲ與ヘルカ如キコトナキコ  
ト
- (ホ) 中支米穀買付組合ハ米統會ノ下部機構ニ過キサルコト  
等ヲ述ヘ更ニ米ノ收買ニ關シ登ノ區處下ニ置カレタル憲  
兵側ヨリモ積極的ニ買付ヲ援助スヘキ旨ヲ述ヘタル外登  
ヨリ各地憲兵隊ニ對シテハ買付援助ニ主眼ヲ置キ查察取  
締嚴ニ過キ却テ惡結果ヲ及ホササルコト肝要ナル旨ヲ訓  
令スル所アリ收買ニ拍車ヲ掛けツツアリ

三、上海地區ニ對スル搬入制限ハ該結果ヲ勘案シ出來得レハ  
本月中ニ緩和シ度キ意嚮ナルカ南京等ニ付テハ別途措置  
ヲ講スルコトトシ大使館ニ於テ目下對策手配中ナリ

三、軍トハ常ニ緊密ニ聯絡シ居リ中旬配給用不足分ノ流用ヲ  
受ケタルカ下旬分ハ米統會ノ收買米ヲ以テ上海ノ配給ヲ  
賄フ如ク督勵中ナリ

四、囤積商人ノ調査取締ニ付テハ米統會ヨリ辦法ヲ行政院ニ  
申請申ナルカ國府ニ於テモ相當ノ決意ヲ以テ右取締及不  
良官吏ノ肅正ニ當ルモノト承知シ居レリ

五、尚貴電御來示ノ上海市民ノ疎開ニ付テハ從來トモ論議セ  
ラレ盡シタル問題ナルモ市長ト懇談致スヘク又石炭ノ確  
保ニ付テハ關係ノ向ト共同シ苦心中ナルモ先行樂觀ヲ許  
サス或ハ石炭及電力ノ消費規正ノ強化ヲ必要トスル情勢  
ニシテ頭ヲ惱マシ居ル處前述ノ如ク米自體ノ收買ニ付テ  
ハ一應ノ手當濟ナリ



927  
昭和19年5月19日

在上海宇佐美公使より  
青木大東亜大臣宛(電報)

## 談について

上海 5月19日後3時30分發  
本省 5月19日後4時50分着

本使發支宛電報

第一三四號

往電第一二六號ニ關シ

一十五日本使袁履登ト懇談シ過去ノ功績ヲ感謝スルト共ニ  
其ノ困難ナル立場ニ同情ヲ表シ且重大ナル時機ニ際シ同  
氏ニ於テ引續キ責任ヲ負擔シ食米問題ノ解決ニ盡力セン  
コトヲ強ク希望シタル後辭表提出ノ經緯心境竝ニ今後ノ  
方針等ニ關スル腹藏ナキ意見ヲ徵シタルカ袁ハ日本側ノ  
好意ニ對シ感謝ノ意ヲ表シタル後大要左ノ如キ説明ヲナ  
シタリ

(一)日本軍米納入力漸ク半量ニ達シタルノミニテ此ノ外新  
穀出廻迄ニ中國側軍警米、上海南京ノ配給米尙一二〇  
萬石ヲ收買スルコトハ現在ノ公定價一石八二〇元ニテ  
ハ到底實行不可能ノ狀勢ニ立至リタル處近來移動制限  
撤廢收買價格引上等之カ救濟策トシテ稟議ニ上リ又最  
近市政諮詢委員會ニ於テモ方策ヲ研究シツツアルカ孰  
豫想セラレタルカ爲ナリ

レモ完全ニ問題ヲ解決シ得ヘシトモ考ヘラレス米統會  
トシテハ責任上辭意ヲ表明シタル次第ナリ尤モ行政院  
ニ於テ現狀ニ鑑ミ各種改善スヘキ點ハ之ヲ改メ更ニ米  
統會ヲシテ收買ノ責任ヲ執ラシムル意圖アルニ於テハ  
敢テ責任ヲ回避スルモノニハ非ス(此ノ意味ハ行政院  
カ同會ヲシテ責任遂行ヲ可能ナラシムル様條件ヲ整ヘ  
且司政諮詢委員會其ノ他ノ民意カ同會ニ反對ナラサル  
ニ於テハ責任ヲ負フモ差支ナシトノ意ニ解サレタリ)  
(二)具體的困難ノ事情ハ尙日本軍米一〇萬噸以上ノ納入ノ  
要アルコト現在ノ價格ノ低キニ過クルコト、輸送上ノ  
困難アルコト等ナルカ尙日本軍大使館トノ間ニ意見ノ  
不一致ノ點ナキ様特ニ考慮ヲ希望ス(最後ノ點ニ付テ  
意見ノ不一致ハ全然ナキ旨本使ヨリ申置ケリ)

(三)軍支援ノ繼續ヲ希望シアルハ實際問題トシテ軍ノ意思  
表示カ餘リ突然ニシテ軍支援下ニ收買中ナリシ米及前  
貸金等ノ引繼ヲナス爲ニモ其ノ繼續ノ必要アリシコト  
ト急遽軍カ手ヲ引カレテハ各地收買米カ土匪ニ奪ハレ  
或ハ輸送「トラック」カ不足スル等種々危險乃至不便

四、自分ハ最近重慶ヨリ脅迫セラレ生命ノ危険ヲ感シ居ル所ナルカ飽迄民衆ノ爲自己ノ信念ヲ貫ク覺悟ハ有スルモノニシテ日本側ニ於テ協力ヲ與ヘラルニ於テハ責任ヲ取ル用意アリ

二、過般設置セラレタル上海市政諮詢委員會ノ小委員會タル生活必需品委員會ノ建議案ニ付テハ十五日市政府吳祕書長ヨリ連絡アリ十六日馮糧食局長ヨリ右ハ同日午前諮詢委員會ニテ採擇セラレタル趣ニテ之ニ對スル當方ノ意見ヲ求メ來リタルカ其ノ要點ハ米統會ノ外ニ市政府ノ下ニ上海米糧公社ヲ設ケ上海有力米商ヲ指定買付商トシテ各地區ニ進出セシメ高價格ヲ以テ買付セシムルト共ニ上海周邊ノ封鎖線ノ數ヶ所ニ開放口ヲ設ケテ之等買付米ノ搬入ヲ登記セシメタル上、買上ニ使シ配給ヲ爲スト謂フニアリ本案ニ依レハ奥地ニ於テ買付競争ヲ惹起シ米統會既契約ノ價格及收買量ニモ重大ナル關係アルヘキニ依リ之カ實施ニハ警戒ヲ要スト考フルモ一概ニ反對スルコトモ諸般ノ情勢上不得策ナルヲ以テ原則トシテ之ヲ容認シ實行迄ニハ實業部長並ニ米統會側ニモ協議セシメ穩當ナル處ニ落着スル様内面指導スル所存ナリ

三、十六日陳實業部長來滬且下當地出張中ノ堀内公使、袁主任等トモ會談シ善後策ヲ講シツツアリタルカ目下ノ處ニテハ米統會ニハ軍米及重要産業米等ヲ引續キ收買セシメ上海民食米ハ前述ノ建議案ヲ骨子トシテ密輸團ノ取締價格ノ操作囤積ノ防止等適當處置ヲ講シテ市政府側ノ施策ニ一任スル方向ニテ協議中ナリ

四、五月上旬上海一般配給ハ停止中ナルモ上海ニ集積セル手持米漸ク約七〇〇〇屯ニ達シタルヲ以テ一般穀商配給乃至重點配給ヲ爲スヘク關係機關協議中ナリ今後ノ見透シ付カサル限り一般配給ヲ爲スコトハ中國側官吏警官モ相當ニ不足ヲ生シタル時治安ニ及ホス影響大ナルヲ以テ慎重ヲ要スル次第ナリ日本側ハ一般邦人用重點產業米(華人労働者配給ヲ主トス)用トシテ雜穀ヲ混シ六月上旬ノ分迄用意シアリ其ノ後ノ分ニ付テハ目下日當ナシ米統會收買米ヲ我方ノミニ使用スルコトハ對支政策上面白カラス去リトテ我方ニテ統制破リノ收買ヲ爲スコト能ハス自然上海市政府ノ新方法ニ依存スルコトナルヘキモ之カ充分ニ配給スル餘裕ナキ時ハ價格ノ問題ト共ニ邦人生活上或ハ好マシカラサル狀況ニ立至ルヘシ

吾、袁履登ノ立場ハ一方重慶ノ壓迫アリ又民食ノ大宗タル米

ノ統制收買ニ快カラヌ上海財界其ノ他一部ノ人士ノ反感

上 海 6月4日前8時00分発  
本 省 6月4日前8時45分着

第一一二三三號(至急)

ヲ浴ヒツツ不成績ナル米統會ヲ主宰スルコト故寔ニ苦シキモノアルコト推察ニ難カラス然リトテ不用意ニ袁ノ辭任ヲ實現セシムルニ於テハ(1)本年度軍米買付機構再建ニ當リ大ナル支障アルヘク(2)唐壽民聞蘭亭等モ同様ノ立場ニアリ若シ之等ノ者モ相次テ辭任センカ商統會等統制機構ノ存續上種々困難ヲ惹起スルモノト思料シ各方面ノ動靜ヲ探リツツ慎重ニ對處中ナリ

六、米價格ハ十六日五、二五〇元十七日五、二〇〇元ト下押シタルカ底意ハ堅調ノ模様ナリ凋落原因ハ揚子江及内河ニ於ケル三〇咫以下民船ノ航行制限ヲ緩和シタルコト及上海周邊移動制限撤廢近シノ報ヲ入レテノコトナラントノ觀測モアリ

大臣へ轉電セリ



一、五月二十五日日本側ノ物資移動制限規程ヨリ米ヲ削除同日京滬兩市民食米臨時措置要綱ヲ發表セルカ其ノ後上海米價ハ暴騰狀況ヲ示シ居リタル處六月一日上海市民食米管理暫行辦法公布後ハ食米閘相場ハ暴騰ヲ演シ五月三十一日一石六、五〇〇元ノ相場カ六月一日六八、〇〇〇元同一日ニハ一〇、〇〇〇元ヲ超エ先行騰勢見透付カサル狀態ナリシカタ刻一旦九、〇〇〇元、八、〇〇〇元ノ唱ヘトナレリ之ニ加フルニ同二日米統會及市政府當局ハ前記措置要綱竝ニ辦法ニ依ル事項ハ準備ノ整フ迄當分實行セス自由搬入ヲ認ムル旨發表シタルカ影響少カラスト思考セラル

二、右ノ如キ米價暴騰ノ爲上海周邊地區向米買占ノ爲當市一般ニ銀行預金ヲ引出シ米買ニ現送スルモノ多ク此ノ爲華側金融機關ノ儲備銀行預金引出激増シ又上海銀行同業公會職員ハ最近ノ米價暴騰ヲ理由ニ給與引上ヲ要求怠業状態ニ入り他ニ波及ノ虞アリ

928 昭和19年6月4日

在上海宇佐美公使より  
青木大東亞大臣宛(電報)

上海における米価の高騰状況につき報告

七 「大東亜共栄圏」における食糧問題

三、米價暴騰ハ上海市民ニ深刻ナル影響ヲ與ヘ其ノ成行ハ憂慮スヘキモノアリ當方ニ於テモ情勢ノ推移ニ對シテハ注视中ナル處現況ニ於テハ其ノ他ノ商品物價ニ對スル大ナル影響ハ見ラレス

四、主要商品市況左ノ通

| 區分                | 五月廿三日   | 五月廿四日   | 五月廿五日   | 五月卅一日   | 六月一日    |
|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 永安公司株<br>金條       | 一四九元    | 一四五元    | 一四七元    | 二六三元    | 一八八元    |
| 食米(一市石)<br>蠟燭(船牌) | 一三三、〇〇〇 | 一六六、〇〇〇 | 一七〇、〇〇〇 | 一八〇、〇〇〇 | 一八〇、〇〇〇 |
| 煙草(大英牌)<br>統一米    | 五、四〇〇   | 五、五〇〇   | 五、六〇〇   | 六、五〇〇   | 八、〇〇〇   |
| 弗利札<br>一公債        | 九〇、〇〇〇  | 一六八     | 八七、〇〇〇  | 五、三〇〇   | 五、三〇〇   |
|                   | 一八二     | 一七八     | 一八三     | 一九〇     | 一九二     |
|                   | 一八二     | 一七二     | 一八五     | 一七七     | 一九五     |
|                   |         |         |         |         | 一七五     |

支ニ轉報セリ

929 昭和19年6月7日

在上海宇佐美公使より  
青木大東亜大臣宛(電報)

上海 6月7日後3時00分発  
本省 6月7日後7時10分着

第一二六一號(至急)

當地食米事情ニ付テハ屢次報告ノ通ナルカ近來頓ニ惡化セ  
ル治安狀況ニ鑑ミレハ價格ノ引上ヶ移動制限撤廢等ノ施策  
要請について

ヲ以テシテモ所要量ノ收買確保ハ至難ト認メラル我方今後

ノ所要米ニ付テ見ルモ軍需米(五萬噸)重要產業米(十月迄

二一萬四千噸主トシテ華人労働者ニ對スル配給ナリ而モ一

般配給無キニ至ラハ勞務確保ノ見地ヨリ労働者家族分モ或

ル程度配給ノ要アリ)上海邦人米(十月迄五千噸)(上海以外

ノ邦人米ハ量モ少ク略確保シアリ)ノ確保見透着カサル現

狀ナリ若シ所要米ヲ確保セサルニ於テハ價格ノ暴騰ニ依リ

邦人ノ生活脅威ハ素ヨリ官公吏、軍警、重要產業労働者ノ

間ニモ不安不穩ノ情勢ヲ惹起スルハ必全ノコトト存セラレ<sup>(然考)</sup>

一度事態惡化セハ物價奔騰、通貨膨脹、紙幣不足、特資供

給困難等一聯ノ惡影響ヲ勃起スル虞アリ就テハ從來當館ト

シテ諸般ノ事情ニ鑑ミ南方米輸入ニ依頼スルコトハ飽迄避

クル覺悟ヲ堅持シ來リタルモ此ノ際トシテハ萬一ノ場合ヲ

慮ラサルヲ得ス邦人食米ニ付テハ代用食其ノ他ノ方法ニ依

リ極力節約スルコトハ勿論ナルモ事情許ス限り南方米ノ當

地向輸送方配慮願度ク何分ノ御回示ヲ請フ

支ヘ轉電セリ

~~~~~

930

昭和19年6月14日

在中國谷大使より
青木大東亞大臣宛(電報)

上海米統会活動支援のための大連館の機能強化につき意見具申

南 京 6月14日後4時30分發

本 省 6月14日後10時40分着

第六〇〇號(館長符號板、至急)

十三日上海ヨリ歸寧ノ小倉正恒顧問本使ヲ來訪シ上海ニテ實情ヲ調査セルカ米統會ハ五月以來活動休止ノ状態ニアリ

此ノ儘放置スル時ハ收拾スヘカラサル狀態ニ立至ルノ惧レ

アリ就テハ軍ヨリ米統會ニ對シ引續キ強力ナル支援ヲ與ヘ

ラルルト共ニ不取敢ノ措置トシテ登部隊井上參謀ヲ現職ノ

儘大使館調査官又ハ武官輔佐官ニ任命セラルコト最モ時

宜ニ適スト信スル旨申シ出テアリタル處本件ハ先般本使上

京ノ際本使ヨリモ篤ト御報告申シ上ケタル通リノ實情ナル

ノミナラス其後ノ狀況ニモ鑑ミ極メテ必要ト存セラルニ

付テハ此ノ際至急軍中央ト御折衝ノ上中央ヨリ總軍ニ對シ

大東亞省出先機關ヨリ依頼アリタル際ハ政治及經濟ニ關ス

ル諸問題ニ付テモ出來得ル限リノ支援ヲ與ヘル様指示方御

七 「大東亜共栄圏」における食糧問題

配慮相成ルト共ニ當館ノ業務ヲ援助スル意味合ニテ差當リ
井上參謀ヲ現職ノ儘前記何レカノ資格ニテ當館ニ配屬方大
至急御取計相成度何分ノ儀回電アリ度シ

本件小倉顧問ト打台濟

931 昭和19年10月20日

在上海宇佐美公使より
重光大東亜大臣宛(電報)

陸海軍からの供出要求増大など華中地域の食

糧事情につき報告

上海 10月20日発
本省 10月24日着

第三二九三號(航空便托送)

中支ニ於ケル米ノ作柄ハ當初豐作ヲ豫想セラレシモ登熟期
ニ入りテ降雨多ク氣温低下シ現在ニアリテハ平年作程度ト
觀測セラルルニ至レリ最近陸軍ヨリノ粧大ナル「アルコー
ル」原料ノ要求アリ(淮海ヲ含ミテ差當リノ豫定量陸海軍
十二萬噸)尙陸海軍ニ於テ目下急速ニ「アルコール」生産
設備ノ大擴張ヲ行ヒツツアリテ來年度ハ更ニ大ナル要求ニ
當面セサルヲ得サルヘシ(海軍ノミニテモ支那ニ於ケル

| 米 | 昭和六年度實績 一呑、〇〇〇 (外米二六、〇〇〇 輸入アリタリ) | 昭和九年度實績 一呑、四九〇 (外米六、〇〇〇 輸入アリタリ) | 昭和三年度實績 三〇、〇〇〇 (外米六、〇〇〇 輸入アリタリ) |
|---|---|--|--|
|---|---|--|--|

- 「アルコール」原料計畫三六萬噸ノ大部分ハ中支ニ要求セ
ラルヘシ)之ニ對シ他方軍需食糧モ本年ハ増加シ又北支、
滿洲等ヘノ小麥粉ノ輸移出ヲモ確保セサルヘカラス
中支ノ食糧ニ對スル負荷(軍需及輸移出量ノ合計)ハ後記ノ
如ク年々激増シ今年度ハ一躍五五萬噸トナレリ然レトモ右
ハ何レモ決戰ヲ控ヘ絶對ノ要請ナルヲ以テ萬難ヲ排シ之力
取得ニ努ムルモ之ニ依リ豫想セラル結果ハ次ノ如キヲ以
テ軍トモ協議臨機對處スル方針ナリ
- (1)來年三、四月ニハ中支ニ於テ深刻ナル食糧問題ヲ惹キ起
ス虞アルコト
- (2)從來三萬噸程度ノ收買實績ニ過キサル苞米、高粱等「ア
ルコール」原料ヲ本年七萬噸收得スルニ於テハ米、小麥
等ノ收荷ニモ少ナカラス影響セサルヲ得サルコト
- (3)北支、滿洲等ヘノ小麥粉ノ輸移出ヲ削減セラルルコト
中支ニ於ケル食糧ニ對スル負荷

| | | | |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 大麥、裸麥 | 一〇〇,〇〇〇 " | 四、七七〇 " | 三、五〇〇 " |
| 小麥粉 | 一五、三五〇 " | 二六、八三二 " | 一四六、四〇〇 " |
| 雜穀 | 二五、〇〇〇 " | 一〇〇,〇〇〇 " | 七〇、〇〇〇 " |
| 小麥 | — | 一〇〇,〇〇〇 " | 八〇,〇〇〇 " |
| 計 | 三五、三五〇 " | 三六、〇六〇 " | 三五、二四〇 " |

以上ハ現地陸海軍需及對日供給ヲ含ム
支、北京へ轉電セリ

932 昭和19年10月21日

在上海矢野總領事より
重光大東亞大臣宛(電報)

上海における米価高騰の原因に關する中國側
からの各種内話について

上海 10月21日発
本省 10月24日着

第五八四號(航空便托送、極祕)

上海一般市場米價ハ本月初旬一市石一四、〇〇〇元程度ヲ
維持シ居リタル處十二日一五、〇〇〇十三日一六、〇〇〇
十六日二三、〇〇〇元ノ高價ヲ示シ十七日我方戰況發表ト

共ニ二一、〇〇〇ニ下リタルモ十八日二二一、〇〇〇ト反發
セルモ本十九日正午現在一九、〇〇〇元ヲ示シ居レリ

右ニ關シ陳彬龢(申報社長)李權時(經濟日報社長)及項康原
(項元製罐會社總經理)等ノ館員ニ内話スル處左ノ通り

一、最大原因ハ政府カ上海ヘノ米自由般入ヲ禁止セルコトニ
在ルモ最近ノ飛躍的昂騰ハ一種ノ人氣ト謠言(臺灣へノ
米軍上陸説)ニ因ルヘシ

二、米統會ニ對スル日本側干涉多キニ過キ機能動カス且現米
統會幹部陳國權ノ如キ中國財界ニ對シ何等地位經驗ナキ
モノヲ起用セル外主任祕書周ノ惡德行爲ヲ克ク知悉セル
爲一般財界人カ協力セサルコト

三、一般市民カ戸口米配給時期稍々遲レタル爲(十六日配給
開始豫定ハ十九日ニナル筈)政府持米缺乏ヲ察知セルコ
ト等ニ基因スル所多シト
尙市政府警察局調査モ右第一、三項ニ對シテハ同様ナル
カ其ノ他ノ原因トシテ(本年米產地ニ於ケル收買見透シ
不良)戰局逼迫ニ伴フ各自ノ少量囤積(戸口米配給遲延
ノ間隙ニ乘シタル奸高ノ操作等ヲ擧ケ居レリ
南京、北京、廣東へ轉電シ上海へ暗送セリ

昭和19年12月19日

重光外務大臣
褚民誼外交部部長 会談

治外法権撤廃や食糧問題等に関する重光外相
と褚民誼との会談

重光大臣褚民誼外交部々長會談錄

(昭和十九年十二月十九日 於外務大臣官邸)

褚民誼外交部々長ノ旅程等ニ關シ雜談ヲ交シタル後

褚 貴大臣モ御聞及ヒノコトト存スルモ故汪主席歿後自分ハ辭意ヲ懷キ居リタルモ谷大使ヨリモ種々話アリ、陳公博、周佛海兩氏ヨリモ慰留セラレタリ。陳主席カ今回來訪ニ際シ御伴スルコトヲ得小磯總理及貴大臣ニ御目ニカルヲ得テ甚々喜ハシキ次第ナリ。

大臣 駐日大使トシテ又外交部々長トシテ自分カ御懇意ニ御願ヒシ又日本側ノ敬愛置ク能ハサル貴部長カ中國ノ樞要ナル地位ニアルハ誠ニ心強キ次第ナリ、汪主席ノ死ハ誠ニ悲シキ限りナルカ貴部長カ元氣ニテ活躍セラルルコトハ故汪主席ニ對シテモ當然ノコトナリト考ヘ御留任ニナルコトヲ自分ハ喜ヒ居ル次第ナリ。

褚 私ノ辭職ヲ望ミタル第一ノ原因ハ汪主席逝去サレテ頗

ル落膽セル爲ナリ、何トナレハ自分ハ故汪主席トハ特ニ親シク國民革命ノ同志ニシテ佛國留學時代ノ同窓ニシテ結婚シテハ親戚トナリ、民國二十一年故汪主席カ行政院長ナリシトキノ祕書長ニシテ、又和平運動起ルヤ同志トシテ共ニ働キ南京還都後ハ汪院長ノ下ニ外交部々長トシテ仕ヘタル深キ關係アリ、第二ノ原因トシテハ國民政府還都後外交部々長トナリ續イテ駐日大使トナリ、又再ヒ外交部部長ヲ勤メ來レル爲些カ疲勞ヲ覺ヘ居ルカ爲ナリ、第三ノ原因トシテハ現在中國ハ經濟問題複雜化シ居リ官公吏ハ生活ニ窮シ居ル有様ナリ、自分個人ノ生活ニハ困ラサルモ文物保管委員會委員長、及外交部々長トシテ多クノ貧窮シ居ル部下ヲ有シ此ニ對シ補助ヲ與ヘ來レルモ、最早之以上手ヲ盡シ得サルヲ以ツテ職ヲ辭シ責任ヲ免セラレントセルニアリ、第四ノ理由ハ和平運動ハ故汪主席カ開始セルモ未タ目的ヲ達シ居ラス、自分モソノ同志ノ一員ナルヲ以テ身ヲ退キ後進ニ道ヲ譲リ度トノ考ヘモアリタリ。此ノ度主席ノ伴ヨシテ渡日セルカ日本ニ於テ知人ハ自分ヲ重ク見テ下サレ誠ニ感謝ノ至リナリ、特ニ閣下ノ催サレタル先夜ノ宴會ニ際シテハ御挨拶中ニ於テ過

分ノ御褒メノ言葉ヲ賜リ恐縮ナリ、今回陳主席ノ渡日ニ際シ隨行セルハ陳主席最初ノ渡日ナルヲ以テ職ヲ辭シテ同行セサルハ宜シカラス且今回陳主席ハ重要ナル問題ヲ携ヘ來朝セラルルコトトナリタルカ爲ナリ。又自分カ隨行セサレハ國民政府ノ部内不統一ノ疑ヒヲ受クルヲ憂ヒタル爲ナリ。自分ハ陳主席ト小磯總理及貴大臣トノ會談ニハ立會ハサリシモ其ノ内容ハ承知致シ居リ、今朝出發前陳主席ハ自分ニ對シ貴大臣ニ面接ノ上北支問題、民需及軍需ノ問題等ニ關シ種々御願ヒセル點ヲ早急ニ解決シ下サル様御依頼セヨト申シタリ

自分ハ本日貴大臣ノ御教示ヲ乞ヒ度キハ治外法權撤廢ノ問題ナリ、日本ハ中國ニ於ケル、租界及治外法權ヲ撤廢スヘキ旨聲明セラレ、現實ニ租界ノ回收ト課稅權ノ一部撤廢トヲ認メラレタリ
然レトモ内河航行權警察權等ハ依然殘存シ居レリ即チ治外法權ニ關シテハ未タ全般的拋棄ハ實現シ居ラス、日本側ハ之カ爲委員會ヲ作り上海ニ於テハ田尻公使、又其ノ後ノ宇佐美公使南京ニ於テハ堀内公使等カ夫レ夫レ任命セラレ非常ニ熱心ナルモ之ニ對スル國民政府側ノ對象ナ

シ、故ニ國民政府側ニ於テ治外法權撤廢委員會ヲ設クルコト策ヲ得タルモノナリト考フ。右ニ關シテハ今日迄ハ司法行政部ニ對内的ノ一部局アリタルノミナリ、右委員會ヲ創設スルコトハ中央政治委員會ヲ通過シ其ノ後自分ハ條令及豫算ヲ提出セルカ目下審査中ニシテ來年早々ハ成立スルモノト考フ。本日ハ如何ニ本委員會ヲ活用スヘキヤ日本側ト如何ニ連絡スヘキヤニ關シ御教示ヲ仰キ度日本ニ於テハ明治維新後治外法權撤廢ニ多大ノ努力ヲ致サレ且ツ成功セラレタルカ其際多數ノ専門家カ討論研究ノ上有終美ヲ爲サレタルハ熟知シ居ル所ナリ。中國ニ於テモ治外法權ノ問題ヲ十分検討シ日本側トモ意見ヲ交換シテ行キ度シト存ス
大臣 御趣旨ニハ贊成ナリ。中國ニ於ケル治外法權撤廢ノ問題ハ自分カ大使在任中其基礎ヲ築キタルモノナルカ之ヲ實現スル爲研究ヲ進メラルルコトハ結構ナリ。然シ中國ノ現情ヲ以テシテハ内河航行權等實際ニ行ヒ得サルモノアリ。今次戰爭ニ勝利ヲ得ハ直チニ實行出來ル問題ナルモ目下研究時代ニシテ其ノ基礎ヲ固メ置カハ戰勝ノ曉ニハ直チニ實行ニ移シ得ル次第ナリ。右ノ如キ研究方法

ニ關シテハ谷大使ト御話合アリタルヤ

褚 谷大使ニハ本案ヲ御話シ居ケリ。大使カラモ東京ニ電報アリタル筈ナリ。本機關ハ準備機關ニシテ討論ノ機關ナリ

斯ノ如キ機構ナクハ戰爭終了後初メテ問題ニ着手スルコトトナリ甚々遲ル譯ナリ。今ヨリ總テ準備シ置ク必要

アリ。内河航行權ノ問題、内地難居ノ問題、治外法權撤廢ノ準備トシテノ中國法制ノ問題等長期間研究準備ヲ要スルモノナリ。若シ日本政府ニ於テ此ノ治外法權委員會ノ組織ニ御贊成ナラハ此カ成立ヲ促進シ研究ヲ重ネシメ日本側委員ノ御教示ヲ受ケ度

大臣 御主旨ニハ贊成ナリ良ク大使ニ話シ置クヘシ。

褚 大使ニ宣敷ク御話置キ下サレ度歸寧後ハ直チニ本問題ニ着手致スヘシ。陳主席ノ懇談中觸レタル問題中軍需ト民需トノ關係ノ問題及米ノ問題力最モ重大ナリ。米ハ中支ニ於テ非常ニ騰貴シ、一昨日ハ六萬「ドル」トナリシモ舊正ニハ十萬「ドル」トナル惧アリ。此ハ大ナル社會問題ニ發展スル惧アリ。陳主席ハ軍需品トシテ軍カ何ヲ慾スルカヲ日本側ヨリ提出シ中國カ此ヲ提供スル様致シ

度希望ナリ三年前日本側トノ間ニ一ツノ協定アリ、右ハ中國側ニ於テハ實業部ノ下ニアリタル糧食管理部長日本側ニ於テハ瀧澤氏トノ間ニ取結ハレタルモノナリ。此ハ外交部ノ觸レサリシ問題ナルヲ以テ今後取上ケテ見タシト存ス

大臣 右ハ業務協定ニ非サルヤ、外交部ハ此ヲ如何ニセントスルヤ

褚 軍米地區ノ問題ナリ

大臣 外交部ニ於テ米ノ問題ヲ扱ハントスルヤ

褚 中日間ノ協定ナルヲ以テ外交部ヲ通スル必要アリ。

大臣 糧食管理部ヨリ外交部ニ對シ何モ話シナキヤ

褚 自分ハコノ事ヲ全ク承知セス、或ハ自分カ、駐日大使ノ時代ノ事ナリシヤモ知レス

大臣 業務上ノ取り決メハ官廳間ニ行ハルル事各國ニモ例アリ例ヘハ大藏省等ニ於テソノ事多シ。カカル場合ハ業務官廳ヨリ外務省ニ連絡スル事普通ナリ。トニカク自分ノ方ニ於テモ取り調へ見ルヘシ。

蔡 本協定中ニハ軍需米ハ日本側カ收買スルモ民需米不足スル場合ハ外米ヲ輸入シコレヲ補填スル事ヲ定メ有リ。

然レトモ最近ハ外米ノ輸入セラレタル事ナシ

大臣 外米モ出來得ル限り輸入致シタキモ戰爭ノ關係上目

下ハ船腹ナク輸送不能ノ状況ニ有リ、中國モ共同戰爭ニ

從事シ居ラル處ソノ位ノ御諒解無キヤ

蔡 斯ノ如ク米價高騰スルニ於テハ果シテ軍需米モ收買シ

得ルヤ否ヤノ問題トナルヘシ

大臣 兔ニ角米ノ問題ハ大問題ナリ

褚 現在收買ノ状況ハ先ニ述ヘタル協定ニヨリ軍收買區域

ヲ定メ中國側ハソノ區域内ニテ收買シ得サル事トナリ居レリ。日本側ハソレ以外ノ地區ニ於テモ收買スルヲ以テ米價ハ高騰ス。自分ハ日本側ヨリ中國側ニ必要量ヲ申シ入レ中國側ハ自ラ收買ニ當リ右必要量ヲ確保セハ可ナリ

ト存ス、以前ハ中國側ニ收買ヲ委任せハ米カ集ラヌ心配アリタリト存スルモ今日ニ於テハソノ憂ナシ、政府ハ公定價格ヲ以テ收買ニ當リ價格ヲ一定規準ニ止ムル事ヲ得ト考フ先キ程蔡大使カ述ヘタル如ク該協定中ニハ民需米ニ不足アル時外米ヲ以テ補填ストノ事アリ今日ハ戰爭中

ノ爲右ノ困難ナルハ諒解シ居レリ。軍側ト中國側ト力競走收買セハ價格高騰スルハ明ナリ。軍ハ必要量以上ノ米

ヲ買ヒツケ高キ米ヲ以テ他ノ物資ト交換シ居ルモ右ハ次々ヘト他ノ物資ノ騰貴トナリテ波及ス

大臣 陸軍大臣又ハ柴山次官ト話シセラレタルヤ

褚 陳主席カ話サレタリ

大臣 貴部長モ相當期間滯京セラルヲ以テ軍當局ニ話シ

褚 機會ヲ見テ話スヘシ、前述ノ協定ニ就キ其ノ存否ヲ外務省ニ於テモ御取調ヘ願ヒ度シ自分モ歸寧ノ上ハ取調ヘ内容ヲ明ニシタル上本件ヲ取り上ケテ見度シト存ス陳主席ノ話サレタルソノ他ノ問題即チ經濟問題、北支問題、蒙疆問題等速ニ實現セラルルヤウ御願ヒ致シ度シ

次ニ御報告致シ度キ事アリ、三藏法師ノ事ナリ
民國三十一年十二月二十三日高森部隊カ始メテ發掘シテ以來丸二年目ナル來ル二十三日分骨カ東京ニ到着シ上野ニ於テ供養ノ式取り行ハレ自分モ出席スル積リナリ。此ノ事ハ清水書記官ニモ話シ置キタリ。南京ニ於テ高森部隊カ發掘致シテ以來三藏法師ノ骨ハ文物保管委員會ニ於テ保管シ來レリ其ノ間自分モ東京ニ來リ茶會等ヲ催シ各方面ノ機運ヲ釀成スルニ努メタリ。最初昆盧寺ヲ擴張ス

七 「大東亜共栄圏」における食糧問題

ル計畫アリタルモ三藏塔ヲ建立スル事ニセリ。谷大使閣下モ貴大臣ノ後ヲ受ケ南京ニ來ラレ大ニ御援助下サレタリ。

三藏塔ハ客年九月二十二日百五十萬ノ豫算ヲ以テ着手シ本年三月落成ノ豫定ナリシモ「セメント」其他ノ資材關係ノ爲遅レ本年九月落成シ十月十日双十節ヲ期シ落成式ヲ舉ケタリ。右式典ニハ宇垣大將、坂西中將、水野氏其他大東亜省ヨリモ人ヲ派セラレ盛大ヲ極メタリ且附藏品ヲ贈ラレタルハ感謝ノ至リナリ。此ノ事ハ既ニ貴大臣モ御承知ノ事トハ存スルモ御報告申シ上ク。以前ノ計畫ニヨレハ三藏塔ハ中國側、三藏殿ハ日本側カ費用ヲ負擔スル事トナリ居リタルカ資金ハ別問題トシテ材料不足ノ爲三藏殿ノ建立ハ戰後ニ讓リタリ。附近ニ地藏殿アル爲此ヲ修理擴張シテ暫時三藏殿ノ代リト致シ度所存ニシテ右改造ハ來年一月末ニ完成ノ豫定ナリ。費用ハ約二百萬ニシテ殿ノ兩側ニ四阿ヲ造ル計畫ナリ。コノ費用ハ既ニ自分カ上海ニ於テ調達セルヲ以テ必配ナシ。^(心か) 戰後三藏塔ト地藏殿トノ中間ニ三藏殿ヲ建造致シ度シ
大臣 コレハ貴部長カ致サレタル大事業ナリ、自分モ大ナ

ル寺ヲ建立セント思ヒ日本側ニモ澤山同志出來寄附モ直チニ募リ得ル状況ナルモ戰時中物資不足ナルヲ以テ不本意乍今ノ建物ニテ當分満足セサルヲ得サルヘシ

鶴鳴寺ト三藏塔ト昆盧寺トヲ結フ一角ハ國民政府ノ發生ノ地モアリ記念ノ場所トシテ保存致シ度

褚 今申シタル如ク地藏殿ヲ擴張シ暫ク三藏殿ニ代ヘ度キモ本殿建立ノ場合ハ現在ノ物ハ前殿トナル筈ナリ。現在ハ物資不足ナルヲ以テ之ニテ一段落ト致シ度シ、三藏殿ノ寫眞ヲ見ラレタルヤ

大臣 谷大使ノ繪ヲ戴ク事トナリ居レリ

934 昭和20年6月3日 在上海土田公使より 東鄉大東亜大臣宛(電報)

上海における米穀対策につき報告

上海 6月3日発
本省 6月4日着

第九五六號(大至急)

一、上海米價ノ昂騰ハ戰局ノ見透端境期當面金條昂騰等ノ諸事情ニ依リ狂人的ニシテ一市石一二萬元(五月二十五日

現在)ヨリ僅ニ一週間餘ニシテ五二萬元(六月一日現在)
ニ昂騰シ此ノ趨勢ハ尙繼續スル見込

上海ノ米穀配給狀況ハ左ノ如クニシテ殊ニ華人側ニ著シ
ク食糧不安ヲ感セシメ重大ナル政治問題化シツツアルヲ
以テ軍方面ト折衝ノ上極力手當中ナルモ充分ナラサル惧
アリ

日側月所要量五、六八四石(内邦人小口配給八〇〇噸其
ノ他ハ重點產業)

五月分未配給三、二八四

華側月所要量二、二六〇(華側軍警市府官吏等)

四月分未配給一、九六〇

五月分未配給二、二六〇

日華未配給計七、五〇四

(註)華人小口配給ハ二月下旬ヨリ停止セリ

三 尚先般ノ大陸連絡會同及事務所長會議ノ際内地食糧問題

ニ關シ詳細御説明アリ滿鮮雜穀ニ依存方強調ノ次第アリ

タルカ之ニ對シ内地米穀ハ全部食糧ニ費シ外地ヨリ酒精

(「アルコール」)トシテ内地還送ヲ行フコト對日輸送力ノ

關係上效率的ナルヘク此ノ場合ニ於テモ猶滿洲糧穀ノ一

部ヲ既定計畫外ニ北支ニ輸出スル餘裕アリトノ意見行ハ
レタルコトハ御記憶ノ所ニ有之右實現セラルニ於テハ

從來北支向ニ當テタル淮海地區ノ小麥及雜穀ハ相當量中
支向ケニ轉換可能トナリ況シヤ現在淮海ニハ北支向ケ輸
送難ノ爲滯荷多ク雨季ヲ控エ腐蝕ノ惧ナヘアルニ於テヲ
ヤ中支ノ食糧事情ハ著シク緩和セラルヘク就テハ前記緊
迫セル事態御賢察ノ上極力御配意相煩度(現地軍全幅同
意)來ル十二日南京ニ於テ北中支軍官關係官集合ノ上農
產物收買交易計畫等ヲ中心ニ協議ノ豫定ニ付右ニ關スル
貴見至急御回電相煩度

編注 本文書は農林水產政策研究所所蔵、大東亞省支那事務

局農林課作成、「食糧對策ニ關スル綴 其ノ五(昭和十

九、二十年度)」より採録。

~~~~~

935 昭和20年6月3日 在上海土田公使より  
東鄉大東亞大臣宛(電報)

上海における米穀対策につき南京国民政府へ  
申入れについて

上海 6月3日発  
本省 6月3日着

第九五七號(館長符號扱、大至急)

往電第九五六號、中段「重大ナル政治問題化」云々ニ關シ、上海特別市政府ト當館トノ聯絡ヲ密ニシ施策ノ圓滿ヲ期スル爲當館及市政府間ニ毎週木曜定期聯絡會議ヲ爲シ居ルコト御承知ノ通リナル處(市長出席ノ際ハ本官、祕書

長ノ場合ハ原則トシテ岡崎參事官出席シ外ニ總領事及陸海軍代表モ列席ス)三十一日ノ會談ノ際羅祕書長ハ特ニ起立シ米問題ニ關シ非常ニ嚴肅ナル態度ヲ以テ日本側ノ特段ノ援助ヲ希望シ次ノ如ク述ヘタリ

具體的ニハ本日迄屢日本側ニ依頼セル方法ノ外(軍米ノ一時借入產米地區ノ封鎖撤廢等ヲ指スモノナルヘシ)淮海ヨリノ雜穀搬入米統會ノ手ヲ經スシテ市トシテ蕪湖ヨリ直接一萬袋程度ノ米ノ搬入無錫ヨリ麥粉一萬袋ノ搬入等ヲ考ヘ居レリ物納米カ入ル迄ノ五、六、七ノ三箇月ヲ如何ニ切抜クルカカ問題ナリ云々

二、米問題重大化ニ鑑ミ當方トシテハ夙ニ根本的打開策ニ付ハ全ク夢物語ニ過キス然シ市ノ公務員軍警ニ對スル配給米ハ市政府カ存在スル上ニ於テ絕對ニ必要ナリ右カ不可能ニナルニ於テハ國民政府ノ崩壊前先ツ上海市政ノ崩壊ヲ見ルハ必至ナリ日本側ニ於テ市政府ノ崩壊モ亦已ムヲ得スト爲サルニ於テハ又何ヲカ言ハシ

三、當方トシテハ軍側ト協議折角打開ニ腐心中ニモ有之至急  
御諒察ノ上今次羅祕書長發言ハ本省御含ニ止メラレ中央  
ノ鞭撻ニ依リ逆效果ヲ來スカ如キコト無キ様御留意アリ  
度切言ス

支ニ轉報ス

編　注　本文書は農林水產政策研究所所蔵、大東亞省支那事務  
局農林課作成、「食糧對策ニ關スル綴　其ノ五(昭和十  
九、二十年度)」より採録。

。。。。。。。。。。。。。。。。

936 昭和20年6月5日

在上海豊田(薦)總領事より  
東鄉大東亞大臣宛(電報)

上海における食米問題の早急解決方意見具申

上海　6月5日発  
本省　着

最近上海食米逼迫シ六月一日閏值五十二萬元ヲ唱ヘ居ル處  
上海市政府軍警及公務員用米ハ月一萬三千石ヲ要スルモ一  
般公務員米ハ三月下旬ヨリ軍警米ハ四月上期ヨリ配給セラ  
レス各局署下級職員ノ怠業、地下爭議續出ノ兆アルニ鑑ミ

羅祕書長就任以來廉潔強力政治ヲ斷行シツツアルヲ食米問  
題ニ依リ挫折セシムルハ甚タ遺憾ニシテ市政府連絡ノ責ニ  
アル本官トシテモ本件食米問題ノ解決ハ從來ヨリ豫テ苦慮  
シツツアリ六月一日政經連絡會議ニテ當地登部隊參謀ニ對  
シ作戰上支障ナキ限り公務員用米ノ融通方申入レ善處中ニ  
シテ上海公使ニ於カレテモ折角御努力中ナルモ參考迄  
現在ノ食米事情ヨリシテ戸口米ノ配給ヲ望ムコトハ現在及  
將來ノユマンナルカ公務員米丈ヶハ少クモ一箇月前ニ融通  
アリ度若シ右不能ナルニ於テハ國府崩壊前ニ市政府ハ崩壊

日華首腦連絡會議ニ於テ羅祕書長ヨリ屢次日本側ノ援助ヲ  
要望セラレ當館及大使館側ニ折衝ノ結果數日前一部軍米ノ融通ヲ受ケタルカ右ハ不取敢軍警ノ四月分ニ充當セラレタルニ止マリ一般公務員ニ對シテハ配給セラレス偶々五月三十日食米配給停止ヲ主因トン浦東警察總隊ノ二個大隊忠救軍側ニ逃亡(六月一日南支警察隊一大隊同シク死亡)セル趣ヲ以テ五月三十一日連絡會議席上羅祕書長ヨリ食米問題ハ特ニ重要ナルニ付起立シ報告スル旨ヲ以テ悲壯ナル面ニテ左ノ通落涙シツツ日本側ノ速急救護方ヲ要望セリ

## 七 「大東亜共栄圏」における食糧問題

スヘク市政府ノ崩壊カ曰本側ニテ問題トナラサルナレハ兎モ角苟モ維持セシメントノ御意嚮ナレハ常軌ヲ破ツタ新方策ニ依リ速急解決ヲ圖ラレ度食米問題ノ解決ニ付テハ市政府ハ徒手空拳ニテ市政府自體トシテハ如何トモ爲シ難シ本問題ノ重大性ニ付テハ一時間前ニ陳代理主席ト御話セルカ余ノ政治的良心ヨリシテ落涙ヲ禁シ得ス陳代理主席モ亦落涙セラレル次第ナリ余カ來滙セルハ個人的利害ヲ億レ市政ヲ刷新シ善政ヲ布カントセルニ外ナラス曰本側ノ眞ニ誠意アル速急解決ヲ切望シ度市政府トシテハ爲シ得ヘキ最後的努力ヲ拂フヘシ云々

大臣へ轉電セリ  
上海へ轉報セリ

編　注　電報番号不明。本文書は農林水産政策研究所所蔵、大

東亜省支那事務局農林課作成、「食糧對策ニ關スル綴

其ノ五(昭和十九、二十年度)」より採録。